

リアホナ

よみがえられた救い主への
喜びと感謝, 16ページ

預言者に従う5つの方法, 22ページ

すべての人が、神権からもたらされる
祝福を享受できます,

46, 50, 53, 54, 60ページ





「女が
その乳のみ子を忘れて、
その腹の子を、
あわれまないような
ことがあろうか。
たとい彼らが
忘れるような
ことがあっても、
わたしは、あなたを
忘れることはない。
見よ、わたしは、
たなごころに
あなたを
彫り刻んだ。」

イザヤ49：15-16



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
しっかりと下ろされた^{いかり}錨
ディーター・F・ワークトドルフ管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
イエス・キリストの^{あがな}神聖な使命
——救い主、贖い主

特集

- 12 わたしたちは^{みて}主の御手
ニール・K・ニューウェル
ブラジル、エクアドル、フィリピン、ロシアの聖徒たちが、助けを必要としている人々に仕え、教え、導くとはどういう意味かについて話しています。
- 16 生ける^{あかし}キリストについて証する
特別な証人
大管長会および十二使徒定員会の会員が、救い主について証します。
- 22 預言者に従う
ウィリアム・R・ワーカー長老
わたしたちは、トーマス・S・モンソン大管長の個人的な模範からこれらの5つの原則を学ぶ必要があります。
- 26 世界各地の開拓者たち——
フィリピン——
海の島々に見られる^{あかし}霊的な力
フィリピンにおける自然災害や経済的な困難にもかかわらず、聖徒たちは同地での驚くべき成長を目にしています。

32 救いの計画を用いて 質問に答える

ラリーン・ポーター・ガント
救いの計画は、人生の根本的な質問の幾つかに答えるうえで助けになります。

シリーズ

- 8 旧約聖書の預言者たち——
モーセ
- 10 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
復活祭までの7日間
- 36 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——
将来に希望を見いだす
スタン・バグズレー

表紙

表紙——「園の墓」カーク・リチャーズ画。
複写は禁じられています。
表紙裏——フォト・イラスト/
ジョン・ルーク。



40

- 40 わたしの栄光に
ひたすら目を向けるならば**
キャサリン・ネルソンと
ハイディ・マッコスキー
慎み深い人となるには、適切な服装
以上のことが求められます。
- 44 ヤングアダルトのプロフィール——
フィンランドにおける改心と犠牲**
メリッサ・ゼンテノ

こんげつごう なか
今月号の中に
かく
隠れている
リアホナを
さが
捜しましょう。
ヒント——
おんな こ
女の子の
だい
大きいものは
なん
何でしょう。

54

- 46 主の業における男性と女性**
M・ラッセル・バラード長老
男性も女性も、神の王国において女性が担っている役割についてのこれらの真理を理解する必要があります。
- 50 奉仕するために備え、
備えるために奉仕する**
デビッド・L・ベック
アロン神権者としての奉仕は、あなたのこれからの人生の標準となります。どんなことができるでしょう。
- 53 全ての人を祝福する力**
教会の指導者たちが、神権から得られる祝福について証します。
- 54 家庭に神権の祝福をもたらす**
ボニー・L・オスカーソン
男女を問わず、家庭環境がどうであっても、神権の力に頼り、自分の家族を祝福することができます。
- 56 ふさわしいという自信**
ジェフリー・R・ホランド長老
神権を用いるように求められたとき、あなたはそれに応じる自信がありますか。
- 60 門と道**
天の御父のみもとに帰るうえで、神権はどのように助けとなるかが記されています。
- 62 質疑応答**
墮胎などの、福音の教えに反する話題が学校で出たらどうしたらよいでしょうか。
- 64 真実が誤りか？**
デビッド・A・エドワーズ
この問題を解いて、サタンがどのようにわたしたちを欺くか、学んでください。



68

- 67 「それなら簡単よ、おじいちゃん！」**
エンリケ・R・ファラベラ長老
ラクエルは、自分はまだモルモン書を読める年れいではないと思っていました。
- 68 ポーターの約束**
キャロル・M・ステーブンス
ポーターは気づかぬうちに自分が交わしたせいやくを守っていました！
- 70 初等協会を かていでも——
かぞくは、天の お父さまの
計画の 中心です**
ジャン・テラー
- 72 すばらしい考え**
- 73 岩を動かす**
テレンス・M・ビンソン長老
たとえ小さな問題でも、主は、わたしたちが自分の問題を解決できるよう助けたいと望んでおられます。
- 74 せかいの 友だち——
わたしは フィリピンの
ドリアです**
- 76 小さな みんなのために**
- 81 よげんしゃの ポートレート——
ハワード・W・ハンター**



家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



クリストファー・アムステッド

「復活祭までの7日間」10ページ、「生けるキリストについて証する特別な証人」16ページ——これらの記事にある資料を使って、復活祭の前の週に家族と一緒に毎日霊的な時間を持つとよいでしょう。復活祭の前の日曜日から始めます。17ページの大管長会の証を読み、「復活祭までの7日間」に書かれた指示に従ってください。それから毎日、二人の使徒の証を読み、「復活祭までの7日間」にある聖句、歌、活動を使って家族とメッセージを分かち合います。復活祭の日曜日には、lds.org/biblevideosにある聖書ビデオ「主はよみがえられました」(複数言語で視聴可)を見るのもよいでしょう。

「それなら簡単よ、おじいちゃん!」67ページ——この記事を読んだ後で、あなたもストップウォッチを使ってみましょう。家族でモルモン書から、ある1ページだけを読み、どのくらい時間がかかるか、計ってみてください。その時間を基準にして、モルモン書全体を読むのにどのくらいの時間がかかるかを見積もります。家族と一緒にモルモン書を読む目標を設定するのもよいでしょう。毎日決まった時間に読むなどの予定表を作ると、目標を達成するのに役立ちます。

あなたの言語で

languages.lds.orgで、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

証, 62	個人の価値, 7, 12	伝道活動, 26, 62
イエス・キリスト, 4, 7, 10, 16, 76	識別, 64	ハンター、ワード・W, 81
改心, 26, 44	贖罪, 7, 10, 16, 32, 76	福祉, 12, 36
家族, 46, 50, 54, 70	女性, 46	復活祭, 10, 16
悲しみ, 37, 39	神権, 46, 50, 53, 54, 56, 60	奉仕, 12, 36, 38, 50
希望, 80	神殿, 26, 44	模範, 22
旧約聖書, 8	救いの計画, 32, 37, 39, 70	モルモン書, 67
教会歴史, 26	聖約, 68	モンソン、トーマス・S, 22
敬虔, 76	総大会, 4	預言者, 8, 22
言葉遣い, 40	慎み深さ, 40	



大管長会第二顧問
ディーター・F・
ウークトドルフ管長

い か り しっかりと下ろされた 錨

最近、大きな船でアメリカ合衆国アラスカ州のすばらしい海岸沿いを航行する機会がありました。隔絶された未開の入り江に一晚停泊する準備をするに当たって、船長は潮の満ち引きや水深、危険な障害物からの距離など、その場所や周囲の状況を入念に検討しました。そして問題がないと分かると、船を安全に保ち、しっかりと固定するために錨いかりを下ろしました。そのおかげで、乗客は神の創造物の壮大な美しさに驚嘆する機会にあずかりました。

海岸線を眺めていたとき、わたしはごくわずかな風や海水の流れによって船がほんの少しずつ流されていることに気づきました。それでも、船は錨の鎖の長さや錨の強さによって決まる一定の円の中にしっかりとどまり続けていました。

船長は、錨を船上に置き、万一嵐が近づいた場合にすぐに下ろせるようにしておいたのではありませんでした。そうではなく、予防手段として船を錨で固定し、乗客や船員が安全だと思っている間に船が危険な海域に移動したり、ゆっくりと流されて座礁したりすることのないようにしたのです。

この光景について深く考えていると、次のような思いが浮かびました。ここから一つのたとえを学ばなかったとしたら、元飛行機パイロットとは言えないな、と思ったのです。

わたしたちに錨が必要なのはなぜか

錨の目的は、船を希望する場所に安全にとどめておいたり、悪天候のときに船を制御するのを助けたりすることです。しかし、これらのきわめて重要な目的を達成するためには、とにかく錨があればよいというわけではありません。錨は頑丈な、信頼できるものでなければならず、適切なき

に適切な場所で用いなければなりません。

個人と家族にも錨が必要です。

逆境は大きな嵐としてやって来ることがあり、わたしたちは暴風にあおられて航路からそれ、岩に打ちつけられそうになります。しかし、風も穏やかで海も静かで、すべてが安全であるように思われるときにも、わたしたちは危険にさらされていることがあります。実際、流されているながらもその動きがあまりにわずかであるためにほとんど気づかずにいるときに、最大の危険にさらされているかもしれないのです。

福音はわたしたちの錨である

錨は頑丈で強く、必要なときに準備ができているようによく手入れされていなければなりません。さらに、反対する力に耐えられる基に固定されていなければなりません。

言うまでもなく、イエス・キリストの福音はそのような錨です。福音は神聖な目的のために宇宙の創造主によって用意されたものであり、神の子供たちに安全と導きを提供するためのものです。

結局のところ、福音とは神の子供たちを贖い、みもとに連れ戻すための神の計画にほかならないのです。

すべてのものは本質的に流されていくものであることを知っているわたしたちは、福音の真理という堅固な岩に錨をしっかりと下ろさなければなりません。高慢という砂の上に軽く下ろされていたり、わたしたちの信念の表層にかろうじて触れている状態であつたりしてはなりません。

今月は教会の総大会で神の僕たちしもべの話みたまを聞く機会があります。彼らの言葉は、聖文や御霊の促しとともに、永遠の価値観や原則という安全で堅固な基を提供してくれます。その基に錨を置くことによって、わたしたちは人生の苦しみ



や試練のただ中であって確固として
いることができ、安全に守られるの
です。

いにしへの預言者ヒラマンは次の
ように教えています。「あなたたちは、
神の御子でありキリストである贖い主
の岩の上に基を築かなければならぬ
……。そうすれば、悪魔が大風を、ま
ことに旋風の中に悪魔の矢を送るとき
にも、まことに悪魔の雹^{ひょう}と大嵐があな
たたちを打つときにも、それが不幸と
無窮^{むきゆう}の苦悩^{くなう}の淵^{ふち}にあなたたちを引き
ずり落とすことはない。なぜならば、
あなたたちは堅固な基であるその岩
の上に建てられており、人はその基の
上に築くならば、倒れることなどあり
得ないからである。」(ヒラマン5:12)

しっかりと下ろされた錨の価値

人生では往々にして、わたしたちの
錨が試され、流されそうになることが
あります。それでも、贖い主の岩に
錨が正しく置かれているならば、風の
激しさや潮の強さ、波の高さにかかわ
らず、わたしたちの錨は持ちこたえる
でしょう。

もちろん、船は港でじっとしている
ためのものではなく、錨を上げて人生
の海を航行するためのものです。でも

そのことはまた別の機会にたとえとして
用いることにしましょう。

とりあえず今は、福音の錨と贖い主
の岩がわたしたちを安定した状態に
保ち、守ってくれると確信することで、
わたしは安らぎを覚えます。

そのような錨は、わたしたちが危険
や災難へと流されるのを防いでくれ
ます。刻々と移りゆく人生の壮大な景
色を眺め、そのたくいまれな美しさを
楽しむすばらしい機会を与えてくれ
ます。

人生は美しく、生きる価値があり
ます。風や嵐、大きな潮の流れによっ

て、わたしたちは見えている危険や
見えていない危険へと流されそうに
なるかもしれません。しかし、福音の
メッセージとその神聖な力は、天の
御父の安全な港へと戻る道にわたし
たちをとどめてくれるでしょう。

ですから、4月の総大会での説教
に耳を傾けるだけでなく、錨をしっか
りと下ろすようにそのメッセージを日々
の生活に取り入れましょう。

この重大な意味を持つきわめて
大切な取り組みにおいて、神がわたし
たちを祝福し、導いてくださいますよ
うに。■

このメッセージから教える

リーハイの家族が約束の地へ航海した場面での錨の重要性について話し合
うとよいでしょう(1ニーファイ18章参照)。ニーファイ第一書第18章
11節から15節には、ニーファイが縛られ、リアホナの働きが止まり、船が激しい
嵐に流されたときのことと記されています。この出来事に注目してください。
福音にしっかりと錨を下ろしていないとき、わたしたちはどのような結果に直面
するでしょうか。また、ニーファイ第一書第18章21節から22節を採り上げ、
救い主に頼ることにより、どのようにして安全を見いだすことができるかについ
て話し合うとよいでしょう。

総大会とわたし

サラ・ディークス



以前は総大会の週末は長くて退屈だ
と
思
っ
て
い
ま
し
た
が、時がたつにつれて、その週末が大好きになり、心待ちにするようになりました。総大会の週末には霊的に強められますが、月曜日に普段の生活が再開すると、そうした気持ちが薄れてしまいがちです。総大会から継続的にできる限り多くのものを得るうえで、これまで役に立ってきたアイデアをいくつか紹介します。

総大会に向けた準備として質問を書き出しておき、答えが与えられたら書き留めます。大会後には、大会の説教や音楽をLDS.orgからダウンロードしてMP3プレーヤーに入れ、毎日の生活の中で話や賛美歌を聞けるようにします。『リアホナ』の大会号を研究するのも大好きです。自分用の大会号に印を付けたり、余白に

書き込んだりします。次の総大会がやって来るころには、わたしの大会号はしっかり使い込まれています。家族でも時々、家庭の夕べで一緒にメッセージを研究します。

大会の間に感じた御霊を保ち、メッセージを学び続けるには努力が必要ですが、このように行うことはわたしにとって大きな祝福となっています。総大会のメッセージを研究することによって、助けの必要なときにたくさんの力と導きを受けてきました。これらのメッセージが靈感によるものであると知っています。

筆者はカナダ、トロント在住です。

こども

いかりを下ろしましょう

あなたをふくいんにしっかりとつないでくれるものはなんでしょう。いかりを下ろすあんぜんなばしょだとワークブックかんちょうが言っているものを、男の子がもっているロープと線でおすびましょう。



祈りをもってこの資料を学び、訪問先の姉妹に何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。救い主の生涯と使命が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。詳しくは reliefsociety.lds.org [英語] をご覧ください。

イエス・キリストの 神聖な使命—— 救い主、贖い主

本記事は、救い主の様々な使命に焦点を当てた家庭訪問メッセージシリーズの一環です。

「イエス・キリストがどのような御方かを説明する最も重要な称号は贖い主です」と、十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老は言っています。「贖うという言葉には、債務や負債を支払うという意味があります。また、贖いは例えば、身の代金を払うことにより救済し自由にするという意味もあります。……このような意味はそれぞれ、イエス・キリストが贖罪を通して成し遂げられた偉大な贖いの側面を表しています。辞書によれば、贖罪には『罪人に代わって犠牲を払うことにより、罪とその罰から解放すること』が含まれるのです。」¹

中央扶助協会会長のリンダ・K・バートン姉妹は次のように述べています。「[天の御父は] 御自身の御子、罪なき御子を遣わしてください[いました]。御子はわたしたちの罪、わたしたちの心痛、わたしたち自身の生活で不公平と思われるあらゆることのために苦しまれたのです。

……『長年にわたって試練と悲劇に見舞われてきたある女性が涙ながらにこう言いました。「自分が古い20ドル



札のような存在だということが分かってきました。しわくちゃになり、破け、汚れ、乱暴に扱われ、傷だらけになっています。それでも、……わたしには十分、20ドルの価値があるのです。』この女性は自分が……彼女自身を贖うために御子を遣わすほど御父にとって価値ある存在であることを知っています。教会の姉妹は皆、この女性が知っていること……を知るべきです。」²

聖文から

2 ニーファイ 2:6 ; ヒラマン 5:11 - 12 ;
モーセ 1:39

注

1. D・トッド・クリストファーソン「贖い」『リアホナ』2013年5月号, 109
2. リンダ・K・バートン「イエス・キリストの贖罪を信じる信仰は、わたしたちの心に記されているでしょうか。」『リアホナ』2012年11月号, 114

信仰・家族・扶助



わたしたちの歴史から

新約聖書には、イエス・キリストを信じる信仰を働かせ、主の教えを学び、その教えに従って生活し、主の務めと奇跡と尊厳について証した女性たちのことが記されています。

イエスは井戸の傍らにいた女性に次のように言われました。

『わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう。』

女はイエスに言った、『主よ、わたしがかわくことがな……いように、その水をわたしに下さい。……』

わたしは、キリストと呼ばれるメシヤがこられることを知っています。そのかたがこられたならば、わたしたちに、いっさいのことを知らせて下さるでしょう。』

イエスは女に言われた、『あなたと話をしているこのわたしが、それである。』

その女性は「水がめをそのままそこに置いて」、町でイエスについて証しました。(ヨハネ 4:6 - 30 参照)

何ができるでしょうか？

1. 救い主、贖い主であるイエス・キリストに、どのような方法で感謝を表すことができるでしょうか。

2. 生活の中で救い主の贖いの犠牲がもたらす祝福にあずかるにはどうすればよいでしょうか。

モーセ

「モーセはあまりにも偉大であったので、キリストでさえ、モーセのことをこの古代イスラエルの大群の指導者のような預言者であると描写されているほどです。」¹
——十二使徒定員会ブルース・R・マッコンキー長老（1915 - 1985 年）

わたしはエジプトで生まれました。当時、わたしの民であるイスラエルは奴隷として束縛されていました。エジプト王パロはイスラエル人の奴隷が増えるのを恐れ、男の子が生まれたら一人残らず殺すように命じました。母はわたしを守るために、生後3か月間わたしを隠し、わたしを籠に入れてナイル川の葦の茂みに置きました。パロの娘がわたしを見つけ、自分の息子として育てました。²

わたしは成長するとエジプトを離れ、ミデヤンの地で暮らしました。そこで羊飼いであり祭司であったエテロの世話になり、彼の娘チツポラと結婚しました。そして、エテロからメルキゼデク神権を受けました。³

ある日、エテロの羊の群れの番をしていると、燃える茂みの炎の中に主が御姿を現され、イスラエルの子らを奴隷の身から解放するようとお命じになりました。⁴

わたしはエジプトへ戻り、主の民を解放するようパロに言いました。ところが、パロは民を解放するどころか、民の労役をさらに重くしました。主はエジプトの民に次々と災いをもたせられました。パロは心をかたくなにし、イスラエルの民を解放しようとはしませんでした。最後の災いとして滅ぼす天使が送られ、エジプト中の家族の

最初に生まれた男の子が殺されました。イスラエルの民は傷のない子羊の血を家の入り口の柱とかもいに塗ることで、滅ぼす天使から守られました。主は、イスラエルの民が毎年この奇跡を思い出せるように、儀式として過越の祭を、わたしを通してお定めになりました。⁵

この最後の災いの結果、パロは態度を和らげ、イスラエルの民を解放しました。しかし、後に心をかたくなにして、軍勢を送り、出発したイスラエルの

民を追わせました。主はわたしに紅海を分ける力を授けてくださり、わたしたちは乾いた地の上を逃げました。一方、パロの軍勢は海中におぼれてしまいました。⁶



「葦の茂みの中のモーセ」© PROVIDENCE COLLECTION。「紅海を分けるモーセ」ロバート・T・バレット画。「モーセと石の板」ジェリー・ハーストン画。「アロンを教導の任に召すモーセ」ハリー・アンダーソン画。「モーセと青銅の蛇」ジュディス・A・メーレル画

それから主は、^{あらの}荒野を進むわたしたちを昼は雲の柱で導き、夜は火の柱で照らしてくださいました。また、水とマナとウズラでわたしたちを養ってくださいました。⁷

わたしはシナイ山へ登り、そこに40日間とどまり、主から十戒を授かりました。山から戻ると、イスラエルの民は神に背き、金の子牛を造って拜んでいました。もはや彼らは、神がわたしに授けてくださった律法を受けるのにふさわしくありませんでした。そこで、わたしは律法が刻まれた石の板を壊しました。山へ戻ると、主は
前の律法より低い律法を授け

てくださいました。それは、わたしの名前にちなんで「モーセの律法」と呼ばれています。⁸

荒野の中で主はわたしに幕屋、すなわち可動式の神殿を造るための設計を示されました。幕屋は民が旅をする間、その中で礼拝できるように運ぶものです。幕屋の中で人々は儀式を受け、わたしは「人がその友と語るように、……顔を合わせて」主と語りました⁹。また、主は契約の箱を作る方法をわたしに示されました。それは幕屋の最も神聖な場所、すなわち至聖所に置かれる聖なる品です。¹⁰

イスラエルの民を懲らしめるために主が「火のへび」を送られたとき、わたしは青銅の蛇を造り、それをさおの上に掛けるよう命じられました。蛇にかまれた人々がそれを見上げて癒されるようにするためです。しかし、多く

の人は高慢であったために、またその方法が単純であったために、それを見ようとはせず、滅びてしまいました。¹¹

主は、イスラエルの民が約束の地へ入るのを許される前に、40年間荒野をさまよわせられました。¹²わたしはその地へ入ることはありませんでしたが、主のもとに「御霊^{みたま}によって取り上げられました。¹³ ■

注

1. ブルース・R・マッコスキー, *Mormon Doctrine*, 第2版(1966年), 515。申命18:15-19も参照
2. 出エジプト1章:2:1-10 参照
3. 出エジプト2:11-22; 教義と聖約84:6 参照
4. 出エジプト3章:4:1-17 参照
5. 出エジプト5-12章; エゼキエル45:21 参照
6. 出エジプト14章参照
7. 出エジプト13:21-22; 15:22-27; 16章:17:1-7 参照
8. 出エジプト24:18; 31:18; 32章:34章参照
9. 出エジプト33:11
10. 出エジプト25-29章; 40:21 参照
11. 民数21:6-9; 1ニーファイ17:41; アルマ33:19-20 参照
12. 民数14:33-34 参照
13. アルマ45:19

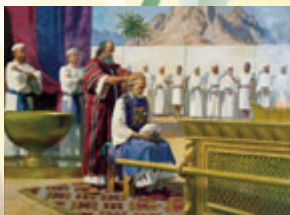
重要な情報——モーセ

モーセの著書——高価な真珠の中のモーセ書に加え、聖書の中の5書、すなわち創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記を著した。

前世で果たした役割——一つの神権時代を管理するよう選ばれた(アブラハム3:22-23 参照)

現世で果たした役割——イスラエルの民をエジプトから導き出した。シナイ山で律法を受けた(出エジプト12章:20章参照)

死後に果たした役割——^{へんぼう}変貌の山に現れ、ペテロ、ヤコブ、ヨハネに神権の鍵を授けた(『聖句ガイド』「変貌」の項、および scriptures.lds.org [英語] 参照)。1836年4月3日、アメリカ合衆国オハイオ州カートランド神殿に現れ、イスラエルの集合の鍵をジョセフ・スミスに回復した(教義と聖約110:11 参照)。



復活祭までの7日間

イエスが地上で生活していたときになされたことについて家族と一緒に学びましょう。復活祭の前の日曜日から始めます。毎日、ここに書かれた聖文を読み、活動を行うか歌（または同じテーマの別の歌）を歌います。次に、それぞれの聖文の話と一致するイエスの絵を切り抜き、空欄に貼ります。欄が全部埋まったら、復活祭の日を迎えます。■



1
目 天の御父から遣わされた御子イエス・キリストが地上にお生まれになった。
• ルカ 2:4-7
• 「主はみ子をつかわし」
（『子供の歌集』20）

2
目 イエスもかつては子供だった。わたしたちも人に優しく親切にして、イエスのようになれる。
• ルカ 2:40, 52
• 「イエス様も子供でした」
（『子供の歌集』34）

3
目 イエスは、バプテスマを受けるなど、天の御父のすべての戒めを守られた。
• マタイ 3:13-17
• 「バプテスマ」
（『子供の歌集』54）

4
目 イエスは、病人を癒し、目の見えない人を見えるようにし、嵐を鎮めるなど、多くの奇跡を行われた。
• マルコ 4:36-39
• 「イエス様の話聞かせて」
（『子供の歌集』36）

3

2

4

5 目

最後の晩餐^{ばんさん}で、イエスは弟子たちに、御自分^{おれ}を覚える方法として聖餐^{さん}にあずかるようにと言われた。わたしたちも毎週聖餐を取るとき、救い主を覚えることができる。

- ルカ 22 : 19 - 20
- 今度の日曜日の聖餐会でイエスについて考えるために何をしたら役立つか、両親に話す。

6 目

天の御父とイエスはわたしたちを愛しておられる。それゆえに、イエスは地上へ来て、わたしたちの罪のために苦しまれた。わたしたちが赦され、天の御父のみもとに戻れるようにするためである。

- ルカ 22 : 41 - 44
- 主イエスの犠牲に感謝する気持ちを主に示すために、今日何をしたらよいだろうか。

7 目

イエスは3日間、墓の中にいた後で復活された。イエスが復活されたので、わたしたちも復活することができる。

- ヨハネ 20 : 15 - 17
- ルカ 24 : 36 - 40
- 「イエス様、本当に復活したの!」(『子供の歌集』45)

この活動の歌は、
lds.org/music で
聴くことができます。
(英語版)





わたしたちは 主の御手

貧しい人を探し出し、苦しんでいる人に仕え、教え、導くのは、
キリストの弟子に欠かすことのできない行いです。

福祉部

ニール・K・ニューウェル

大 恐慌が始まったころ、多くの教会員を脅かしていた貧困と飢えの暗雲を振り払うために、ソルトレーク盆地の6ステークのステーク会長が手を組みました。¹ 経済危機は全世界を襲いましたが、特に、ユタ州が受けた打撃は壊滅的なものでした。²

当時、教会の指導者は、困窮している人々を助けるための手段も資源もほとんど持ち合わせていませんでした。もちろん断食献金を使うことはできたのですが、恒常的に物資が欠乏していたため、これまで利用してきたどんな手段をもってしても不足を補うことはできなかったのです。管理ビショップリックの指示の下で、1900年代初頭にデゼルト職業事務局が設立されていましたが、この事務局には、このような極度の物不足を解消できるような用意はありませんでした。

この6人の神権指導者たちは、ステークの人々を援助するとしたら、一刻の猶予も許されないことを承知していました。すぐに行動しなければならなかったのです。まず、人々に働く場を提供することから始めました。男性の組織を作って、穀物を収穫できる農場に派遣したのです。農場主たちは感謝し、労働の見返りとして食物をふんだんに寄付してくれました。余ったものは倉に蓄え、その他の飢えた人々に配給しました。こうした食料の寄付が増えてくると、聖徒たちはそれを缶詰にして貯蔵するようになりました。現在の福祉

プログラムの始まりです。

80年後の現代、全世界の教会の指導者は自分が託されている教会員を見渡して、助けの必要な人々に手を差し伸べるために同様の決断を下す必要性を感じています。

2011年10月の総大会で、大管長会第二顧問のディーター・F・ウークトドルフ管長はこう述べました。「わたしたちは周りの人の必要に気づきながらも、だれか遠くの人が魔法のように現れてそれを満たしてくれるのを願うことが実に頻繁にあります。特殊な知識を持つ専門家が特定の問題を解決してくれるのを待っているのかもしれませんが。そのようにするとき、わたしたちは自分が提供できるものを隣人に渡さず、また自分自身から奉仕の機会を奪っていることとなります。専門家に何も悪いところはないのですが、現実を見詰みましょう。つまり、すべての問題を解決してもらえるほど十分な人数の専門家がそろうことは決してないのです。その代わりに、主は教会が設立されているすべての国に、神権者とその組織を用意してくださっています。」³

このように、地元の教会指導者と会員に聖霊から靈感を受けるままに行動を起こすようにと呼びかけると、全世界の多くの人々は、ウークトドルフ管長の言葉のとおり、どうするべきかを「自分で見いだして」いきました。⁴ 腕まくりをして、「貧しい者と乏しい者、病気の者と苦しんでいる者を、

すべてのことにおいて思い起こ[す]」ことにしたのです(教義と聖約 52:40)。

エクアドル

エクアドル、グアヤキルのジョニー・モランテレビショップは、ワードの会員たちを見回すと気が重くなりました。生活に最低限必要なものすら手に入れるのに苦勞している家族があまりに多かったのです。彼らを助けたいと思ったので、ワードの指導者と話し合った後、主に相談しました。

その地域には働き口がほとんどなかったため、このビショップは11人の姉妹たちと一緒に働くことから始めました。スモールビジネスの可能性を追求してみないかと誘ったのです。この姉妹たちは品質の良い低価格の家庭用洗剤の需要があることに気づいており、それを製造して地元で販売できないものかと考えていました。しかし、洗剤の製造方法はどのように学べばよいのか、考えあぐねていました。

そんなときにモランテレビショップは、薬剤師として働いていたものの今は失業している姉妹がワードにいることを知りました。安全で品質の高い洗剤の作り方を教えてくれないかと11人の姉妹たちが頼むと、この姉妹は喜んで協力してくれました。

この姉妹たちは事業計画を作成し、それぞれの姉妹が地元どの地域を担当するかを決め、製造する製品を選び、パッケージとラベルのデザインを考えました。

彼女たちはほんの数か月で顧客基盤を確立し、貧困から抜け出すに十分な収入を得て、家族に必要なものを買えるようになりました。

しかも、地元の製薬会社の経営陣がこの起業について耳にし、失業中の薬剤師の話に興味を持ったのです。彼らは結局その薬剤師と面接して、自社の薬品の製造を監督する役職に採用しました。

ロシア

ロシア、モスクワのレチノイワードでは、ワード歴史家として奉仕していたガリーナ・ゴンチャロワが、氷の上ですべて両腕を骨折してしまいました。病院に運ばれると、両腕にギブスを装着され、自分では食べることも服を着ることもできなくなりました。髪をとかすこともできなければ、電話

に出ることすらできなくなったのです。

ワードの会員たちはそのことを知ると、即座に対応しました。神権者たちは彼女に祝福を与え、扶助協会の姉妹たちと連携してこの善良な姉妹の状況を調べ、必要な助けを与えるためにスケジュールを組んだのです。

ワード伝道主任のウラジミール・ネチポロフはこう言っています。「わたしたちは、手を失ったキリスト像の話を経大で聞いたことを思い出しました。⁵ 像の台座に、『あなた



ガリーナは氷の上ですべて腕を骨折してしまいましたが、扶助協会の姉妹たちがガリーナの手になって奉仕しました。

は、わたしの手である』というプレートが付けられたという話です。この善良な姉妹が不自由な思いをしていた数週間、レチノイワードの会員は、このキリスト像の話を自分のことのように感じました。わたしたちは文字どおり彼女の手になったのです。」

フィリピン

2011年に熱帯暴風雨ワシがフィリピンを襲ったとき、洪水と暴風で4万1,000戸の家屋が被害に遭い、1,200人以上が命を落としました。

この洪水の前、フィリピンのカガヤンデオロステークのマックス・サアベドラ会長は、緊急事態対応チームを作るべきだという気持ちに促されて委員会を組織しました。そし

て、行方不明者の捜索・救出から応急手当、食料や水・衣類の調達まで、様々な割り当てを遂行できるようにしたのです。

洪水の水が安全な水位にまで引くと、教会の指導者と会員は配置に就きました。各会員の安全を確認し、被害の程度を調査する責任に就いたのです。ある会員はゴムボートを提供して、身動きの取れない会員を安全な場所に連れて行きました。集会所は開放し、食料や衣類、毛布、一時的な宿泊施設を必要とする人なら誰にでも使ってもらえる避難所にしました。きれいな水がどうしても必要だったため、サアベドラ会長は、消防車を所有している地元の企業に掛け合せて、避難センターになっている集会所にきれいな水を運んでもらいました。会員の中で医療に従事した経験のある有資格者は、負傷した人の治療に当たりました。

会員たちに責任を与えると、サアベドラ会長は、同市の別の避難センターを訪れて支援を申し出ました。そして、食料その他の物資を運んだのです。会員の多くは、自分自身が家を失っていたにもかかわらず、嵐が収まるとすぐに、自分のことを忘れて他の人のために奉仕しました。雨がやんで土地が乾くと、3つのステーキから来た「モルモンヘルピングハンズ」のボランティアが活動を始め、清掃の助けだけでなく、物資の配給も行いました。

ブラジル

ブラジルのセテラゴアス市には、薬物乱用のために障がいを負った女性のための施設があります。入所者は、毎日必死に生き延びようとしています。その施設には小型の天火があり、かつて1日約30斤のパンを焼くために使われていました。入所者たちは地元の人道支援組織から多少の支援は受けていたものの、食べる物すら満足にありませんでした。ブラジル・セテラゴアスステーキの教会指導者は、この入所者たちの窮状を知り、支援したいと思いました。

入所者たちと話し、どんな助けが必要か尋ねました。すると、もっとパンが作れたら、自分たちも今よりは腹を満たせるようになるし、もし少しでも売れば、何がしかの収入になると言うのです。彼女たちにとって、収入を得ることは切実な願いでした。

教会の指導者と会員は、地元の警察や学校と協力して、入所者たちの状況の改善に取り組みました。そして、教会

人道支援からの補助金と、教会や地域のボランティアのおかげで、1日に300斤のパンを製造できる製パン所を作ることができました。

そこから得た収益で、製パン所の女性たちは最初の従業員を雇うことができました。その施設に入所している女性を雇ったのです。

福祉の業

数十年前、靈感を受けた教会指導者が、周囲に困窮している人がいるのを見てほうっておくことができなかつたように、今日、世界中の教会指導者と会員は、自分の住む地域でそれぞれのやり方で同じ奉仕をしています。

ディーター・F・ウークトドルフ管長は、他の人たちの世話をすることについて教会員に話した折にこう言いました。「主の方法は、川辺に腰を下ろし、水が流れ去るまで渡るのを待つことではありません。ともに集まり、袖をまくって仕事に取りかかり、試練という川を渡るために橋を架けたり船を作ったりすることです。」⁶

貧しい者を探し出し、苦しんでいる者に仕え、教え、導くことは、キリストの弟子に欠かすことのできない行い입니다。イエス・キリスト御自身も、その時代の人々をお助けになりました。ウークトドルフ管長は、次のように話を結んでいます。「主の方法で助けるというこの業は、教会のリストに載っている、数あるプログラムの一つではありません。なおざりにできず、無視できないものです。わたしたちの教義の中心を成すものであり、わたしたちの宗教の真髄なのです。」⁷ ■

注

1. このときのステーキ会長のうちヒュー・B・ブラウン、ハロルド・B・リー、ヘンリー・D・モイル、マリオン・G・ロムニーの4人は、後に使徒に召され、その後大管長会で奉仕することになります。ハロルド・B・リーは、第11代大管長になりました。
2. 1930年のユタ州の失業率は、全米第2位でした。ガス・L・マンガン、ブルース・D・ブラメル共著 *The Mormons' War on Poverty: A History of LDS Welfare 1830 - 1990* (1993年), 95 参照
3. ディーター・F・ウークトドルフ「主の道にかなって助けをなす」『リアホナ』2011年11月号, 54 参照
4. ディーター・F・ウークトドルフ「主の道にかなって助けをなす」55
5. ディーター・F・ウークトドルフ「あなたは、わたしの手である」『リアホナ』2010年5月号, 68 参照
6. ディーター・F・ウークトドルフ「主の道にかなって助けをなす」54 - 55
7. ディーター・F・ウークトドルフ「主の道にかなって助けをなす」55 参照



大 管長会および十二使徒定員会の会員は、現代の預言者、聖見者、啓示者であり、「全世界におけるキリストの名の特別な証人」(教義と聖約 107:23)です。そのため、イエス・キリストの神性と、世の救い主および^{あがな}贖い主としてのイエス・キリストの使命について証する責任を負っています。

以下の引用文は、選ばれ、務めを託されたこれらの証人が、救い主の贖いと復活について、また救い主が実際に生きておられることについて証を述べたものです。

生けるキリスト

あかし について証する 特別な証人



**イエスは
わたしたちの
贖い主であります**

「わたしは特別な証人として、心を込め、熱い思いを尽くして、神が生きておられることを高らかに証し、宣言します。イエスは神の御子、肉における御父の独り子です。わたしたちの贖い主であり、御父と人との間の仲保者です。わたしたちの罪を贖うために、十字架上で亡くなり、復活の初穂となられました。主が命を捨てられたので、すべての人は再び生きることができます。『主は生けりと知る』という歌詞の何と美しいことでしょう。」「〔主は生けりと知る〕『賛美歌』75番〕

トーマス・S・モンソン大管長
「主は生けりと知る」『リアホナ』2007年5月号, 25



**わたしは
証することができます**

「わたしは、エマオへの途上の家で、あたかも二人の弟子と一緒に夕べを過ごしたかのように、確かに主の復活を証することができます。パルマイラの森で輝かしい朝の光の中で御父と御子にまみえたジョセフ・スミスと同じように確かに、わたしは主が生きておられることを知っています。……

……わたしはこのことを、よみがえられた救い主、贖い主の証人として……証します。」

大管長会第一顧問
ヘンリー・B・アイリング管長
「わたしのもとにきなさい」
『リアホナ』2013年5月号, 25



贖いと救い

「父なる神は福音を定められた御方であり、福音は、神の救いの計画、すなわち贖いの計画の中心を成すものです。福音が『イエス・キリストの福音』とも呼ばれるのは、贖いと救いを可能にするのがイエス・キリストの贖罪だからです。キリストの贖いにより、人は老若男女を問わず、無条件で肉体の死から贖われています。そして、イエス・キリストの福音を受け入れ従うという条件で、すべての人は自分自身の罪から贖われるのです。……

このことについて、わたしは全身全霊を込めて……証します。」

大管長会第二顧問
ディーター・F・ウークトドルフ管長
「喜んでよい理由はないだろうか」
『リアホナ』2007年11月号, 19, 21 参照



イエスはキリストであられます

「神がわたしたちの御父であられることを知っています。御父は御子イエス・キリストをジョセフ・スミスに紹介されました。皆さんに断言します。わたしはイエスがキリストであられることを知っています。主が生きておられることを知っています。主は時の中間にお生まれになりました。御自身の福音を教え、試しを経験されました。苦しみを受け、十字架にかけられ、3日目に復活されました。イエス・キリストは御父と同様、骨肉の体をお持ちです。イエス・キリストは御自身の贖いの業を果たされました。わたしはイエス・キリストを証します。わたしはイエス・キリストの証人です。」

十二使徒定員会会長
ボイド・K・バックナー会長
「十二使徒」『リアホナ』2008年5月号,
86-87



人類家族の贖い

「〔イエス・キリスト〕は御父の永遠の計画の中心であり、人類の贖いとして備えられた救い主であられます。神はアダムとエバの墮落に打ち勝つために、愛子を送られました。主は救い主、贖い主としてこの世に來られました。そして御自身の命を捨てることにより、人のために肉体の死という障害に打ち勝たれたのです。十字架上で亡くなられたとき、主の霊は肉体から離れ、3日目に霊と肉体が再び結合しました。この結合は永遠のもので、二度と離れることはありません。」

十二使徒定員会 L・トム・ペリー長老
「救いの計画」
『リアホナ』2006年11月号, 71



人類の歴史の中心を成す業

「〔救い主〕の贖罪は、主が血の汗を流されたゲツセマネ(ルカ22:44参照)と、主の肉体が十字架につけられたゴルゴタ(またはカルバリ)で成し遂げられました。ゴルゴタ(カルバリ)は死を象徴する『されこうべ』という意味です(マルコ15:22; マタイ27:33。3ニーファイ27:14も参照)。この無限の贖罪は人を無窮の死から解放することとなります(2ニーファイ9:7参照)。救い主の贖罪は復活を実現し、すべての人が永遠の命を得ることを可能にしました。主の贖罪は人類の歴史の中心を成す業となりました。」

十二使徒定員会
ラッセル・M・ネルソン長老
「救い主が生きておられると知ること
で得る平安と喜び」
『リアホナ』2011年12月, 22



罪に対する犠牲

「イエス・キリストは万人の罪の犠牲となるため、想像を絶する苦しみに耐えられました。至上の善すなわち清い雄の子羊の全きものが、最大の邪悪すなわち全世界の罪に対する犠牲としてささげられたのです。……

イエス・キリストの贖いであるその犠牲は、救いの計画の中心を成しています。……

わたしはイエス・キリストが永遠の父なる神の独り子であられることを知っています。御子の贖いの犠牲のゆえに、わたしたちは不死不滅と永遠の命を得る機会があることを確信しています。御子はわたしたちの主であり、救い主であり、贖い主です。」

十二使徒定員会 ダリン・H・オークス長老
「犠牲」『リアホナ』2012年5月号, 19, 22



**救い主は御自分の教会を
導いておられます**

「イエス・キリストの贖罪は、地上における御子の使命と、人の救いに関する御父の計画の中で、欠くことのできない事柄でした。御父が愛する御子を救うために手を伸べたいという父親の情を抑えられたことに、わたしたちはどれほど感謝すべきでしょうか。皆さんやわたしに対する永遠の愛のゆえに、御父はイエスが予任されたとおりに贖い主となられるのをお許しになりました。……

全人類の救い主、贖い主であるイエス・キリストは、死んではおられません。生きておられるのです。復活した神の御子は生きておられる、それがわたしの証です。今日、主は御自分の教会を導いておられます。」

十二使徒定員会
M・ラッセル・バラード長老
「贖罪と一人の価値」
『リアホナ』2004年5月号, 85, 86



**わたしたちの
希望、仲保者、贖い主**

「〔天の〕御父とその愛子イエス・キリストにより、わたしたちは安全に守られます。救い主は皆さんを愛しておられます。そして自分の証を強めようとする皆さんの努力を確かに認め、その証が人生で善を行うための完全な力となり、必要なときに皆さんを常に支える力となり、不確かなこの世の中であって常に平安と確信を与える力となるようにしてください。

主に仕える十二使徒として、その証を述べる権限を託された者として、わたしは救い主が確かに生きておられることを厳粛に証します。主はよみがえりであり、栄光を受け、完全な愛を持った御方です。わたしたちの希望であり、仲保者、贖い主です。」

十二使徒定員会
リチャード・G・スコット長老
「強い証の持つ力」
『リアホナ』2002年1月号, 103



**さかづき
苦い杯を飲む**

「ゲツセマネの園で、わたしたちの救い主であり贖い主であられる御方は、贖いの苦い杯を飲まずに身を引くことはなさいませんでした〔教義と聖約19:16-19参照〕。そして遂に、『すべてが終わった』〔ヨハネ19:30〕と言えるようになるまで、御父の御心みこころを行うために十字架上で再度苦しまれました。最後まで堪え忍ばれたのです。堅く立ち、完全な従順を示された救い主に対して、御父はこう言われました。『わたしの愛する子を見なさい。わたしの心にかなう者である。わたしは彼によって、わたしの名に栄光を加えた。』〔3ニーファイ11:7〕

……わたしたちの救い主イエス・キリストとともに堅く立って神の御名みなをあがめましょう。救い主が生きておられ〔る〕ことを、特別に証します。」

十二使徒定員会
ロバート・D・ヘイルズ長老
「聖なる場所に堅く立ちなさい」
『リアホナ』2013年5月号, 51



神の完全な御子

「神はあらゆる時に、あらゆる方法で、あらゆる状況の中で、わたしたちの愛し赦してくださる天の御父おやであられることを知っています。イエスは御父の完全な御子で、不完全なわたしたちの贖いのために、御父と御子の御心によって、わたしたちのために愛をもって御自身の命をささげてくださいましたことを知っています。御子が死から復活されたことを知っています。そのおかげで、皆さんもわたしも復活するのです。」

十二使徒定員会
ジェフリー・R・ホルランド長老
「主よ、信じます」
『リアホナ』2013年5月号, 95



**わたしは救い主が
生きておられることを
知っています**

「わたしは主イエス・キリストがささげてくださった無限にして永遠の犠牲について証し、感謝を表します。わたしは救い主が生きておられることを知っています。これまでに主の贖いの力と人に能力を授ける力の両方を身に受けてきました。これらの力が実在し、わたしたち一人一人が受けられるものであることを証します。現世の旅を歩みながら、わたしたちは確かに『主の力を受けて』すべてのことを成し遂げ、すべてのことに打ち勝てるのです。」

十二使徒定員会
デビッド・A・ペドナー長老
「贖罪と現世の旅」
『リアホナ』2012年4月号, 19



**キリストはご自分の使命を
果たされました**

「〔救い主〕は『人類の罪』と『サタンが加えることのできる……恐怖』〔ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』594 - 595〕を引き受けられたのです。その過程で、不当に仕組まれた裁判と、十字架に先立つ、恐ろしく痛ましい出来事を耐えられました。これはイースターの朝にキリストの勝利の復活でクライマックスを迎えます。キリストは救い主、贖い主として神聖な使命を果たされました。わたしたちは死から復活し、霊と肉体は再び結合します。……

わたしはイエス・キリストが生きておられ、世の救い主、贖い主であられることを使徒として証します。イエス・キリストは真の幸福に通じる道を準備してくださいました。」

十二使徒定員会
クエンティン・L・クック長老
「わたしたちはイエス・キリストに従う」
『リアホナ』2010年5月号, 83 - 84, 86



**救い主がわたしたちを
贖ってくださいました**

「救い主のゲツセマネでの苦痛と十字架の苦悩により、わたしたちに課せられた正義の要求が満たされ、わたしたちは贖われます。主は悔い改める人を赦し、憐れみを注いでくださいます。贖いは、罪のない人が被るあらゆる苦しみを癒し、償うことにより、正義が負う負債を補償します。『神はすべての人の苦痛、まことに男、女、子供の区別なく、アダムの家族に属する、生けるものすべての苦痛を受けられる』からです（2ニーファイ9:21。アルマ7:11 - 12も参照）。

……究極的な贖いはイエス・キリストのみが成し遂げられるものです。へりくだり、感謝の念をもって、主が贖い主であると証します。」

十二使徒定員会
D・トッド・クリストファーソン長老
「贖い」『リアホナ』2013年5月号,
110, 112



よみがえりであり、命である

「何よりもまず、わたしたちは救い主、贖い主であるイエス・キリストについて宣言します。今頂いているすべて、そしてこれから頂くすべてについて、わたしたちは主に負債を負っています。……

主の御言葉は世紀を越えて響き渡っています。

『わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。

また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。』（ヨハネ11:25 - 26）

兄弟姉妹、主は生きておられます。主は復活されました。そして地上での聖なる業を導いておられます。」

十二使徒定員会
ニール・L・アンダーセン長老
「主のみもとに来なさい」
『リアホナ』2009年5月号, 80



質問に答える

復活した人はどのような姿をしていますか。

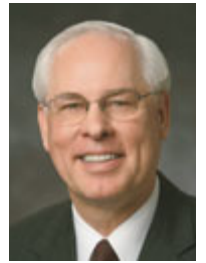
「わたしたちはこの世を去ると、……栄光を受けた肉体を得、病や悩みから解放され、最も美しい状態になります。復活した男性あるいは女性の姿ほど美しいものはありません。男〔女〕が得ることのできるものの中で復活

した肉体に勝るものをわたしは想像することができません。……末日聖徒は皆、第一の復活の朝に出て来て栄光を受け、神の前に昇栄〔する〕可能性を持っています。」

ロレンゾ・スノー大管長（1814 - 1901年）
Conference Report, 1900年10月, 4



七十人
ウィリアム・R・
ワーカー長老



預言者に 従う

数年前、総大会の直前に、トーマス・S・モンソン大管長は素晴らしいことを教えてくれました。今回は、ユタ州ソルトレーク・シティーへ旅してきた中央幹部の集まりでのことでした。世界各地で地域会長会の一員として奉仕している方々が集う非常に重要な集まりでした。大管長会と十二使徒から教えるための集会です。

集会の時間になると、全員が出席しているようでしたが、モンソン大管長はまだ到着していませんでした。開会時間の数分前になると、出席者は互いに話すのをやめて、敬虔な気持ちで前奏の音楽に耳を傾けていました。そろそろ預言者が姿を見せるだろうと思っていたのです。

開会時刻の午前9時を過ぎ、皆、忍耐強く待っていました。誰かが脇のドアから出て行きました。助けが必要かもしれないとの思いだったのでしょう。戻って来ると、「モンソン大管長は間もなくお見えになります」と言いました。

予定の時刻から15分くらいたつと、モンソン大管長が部屋に入って来ました。敬意を表するために、全員が立ち上がりました。大管長の姿を見るとお元気そうなので、わたしたちは安心しました。遅れたことについて何か明らかな理由があったようには思えませんでした。

モンソン大管長は説教壇へまっすぐに行くと、こう言いました。「皆さん、遅れて申し訳ありません。今朝、妻がわたしを必要としていたのです。」

わたしは強く心を打たれ、謙虚な気持ちになりました。モンソン大管長の言葉が頭から離れませんでした。

これはとても重要な集会でした。中央幹部が全員集っていました。しかし、モンソン大管長は模範を示したのです。妻に必要とされ、妻を世話するために必要な時間を取ったのです。それは素晴らしい説教でした。その日に話された他

わたしたちがモンソン大管長に従い、大管長のようになろうと努めるとき、主イエス・キリストの一層忠実な弟子になれる日が、必ず来るでしょう。

のことは覚えていませんが、「妻がわたしを必要としていたのです」という説教は忘れられません。

預言者の模範に従う

モンソン大管長の模範に従う5つの方法を提案したいと思います。

1. 前向きになり、明るい気持ちを持ちましょう。

高価な真珠の中で、預言者ジョセフ・スミスは明るい人柄だったと描写されています（ジョセフ・スミス—歴史1:28参照）。それはモンソン大管長にも当てはまります。

あるとき、モンソン大管長はこう言いました。「わたしたちは……前向きな態度を持つ方を選ぶのがよいでしょう。風の方向を変えることはできませんが、船の帆を調節することはできます。つまり、前途にどんなことが起きようとも、明るく前向きな道を選ぶ方がよいのです。」¹

ある日、わたしは大管長会の会議室の外で待っていました。神殿の事柄について話し合う集会に加わるように招かれていたのです。部屋の外で独り静かに座っていました。大管長会の会合はすでに始まっていて、まもなく加わるように招かれるのだらうと思っていました。



モンソン大管長は、子供たちに心を向けます。定礎式に子供たちを参加させるのです。

すると誰かが口笛を吹きながら廊下を歩いて来るのが聞こえました。わたしはこう思いました。「正しい作法を知らない人だ。大管長の執務室の外で口笛を吹くなんて、常識外れだ。」

次の瞬間、口笛を吹いた人が廊下の角を曲がって来ました。モンソン大管長だったのです。明るく前向きな人柄でした。大管長は温かい笑顔で挨拶して、こう言いました。「そろそろ会議を始めましょうか。」

教会全体の重荷が肩にのしかかっている状態でも、モンソン大管長は明るい人柄の模範を示し、前向きな姿勢を崩すことはありません。わたしたちもそうするべきです。

2. 子供たちに思いやりと愛情を示しましょう。

イエスはよく子供たちについて語られました。主の預言者モンソン大管長もよく子供たちについて語ります。特に、わたしは神殿の奉獻式の度に、大管長がいかに子供たちを愛しているかを目にし、子供への接し方の手本を覚えてもらいました。モンソン大管長は、神殿の奉獻式ではいつも子供たちに心を向けます。定礎式に子供たちを参加させ、神殿の竣工しゅんの象徴として礎石にモルタルを流し込む作業をいつも数人の子供にさせるのです。楽しく、また思い出に残る経験となるように計らいます。いつも笑顔で子供たちを

励まし、褒めるのです。ほほえましい光景です。

大管長の温かい挨拶には時に、ハイタッチをしたり、ピクピク耳を動かしたりする動作もあります。また伝道や神殿結婚を勧めることもあります。

数年前、モンソン大管長は誕生日にユタ州オーカーマウンテン神殿を奉獻する予定になっていました。神殿に着いて玄関に近づくと、若い人たちが集まっていました。明らかに、その日がモンソン大管長の誕生日であると知っていて、「ハッピーバースデー」の歌を歌い始めました。大管長はうれしそうに足を止め、笑顔で彼らの方を見ました。あたかも歌の指揮をしているかのように、手を振り始めました。歌の終わりに「ずっといつまでも」という歌詞が付け加えられるのを聞くと、それも気に入って、わたしにこう言いました。「そこがわたしの大好きなところだよ。」

子供や若い教会員は大管長が大好きです。また、大管長に愛されていることを確信しています。

3. 御霊みたまの導きに従いましょう。

主に対するモンソン大管長の献身と、御霊の導きに従う強い決意については、預言者自身が次のような美しい言葉で述べています。「人生で最も麗しい経験は、御霊の導きを感じてそれに従って行動し、それが誰かの祈りの答えであったり、誰かの必要を満たしたりしたことが後で分かるという経験です。必要なときにはいつでも、トム・モンソンが主の用向きを果たすということを、常に主に知っていただきたいと思います。」²

それはわたしたち皆が従いたいと思ふべき模範です。

4. 神殿を大切にしましょう。

モンソン大管長は、教会歴史の中で、神殿の建設に力を入れた預言者の一人となることでしょう。2008年2月に大管長になって以来、神殿建設の偉大な業を続けてきました。預言者を務めてきた過去6年間に、モンソン大管長はさらに33の新しい神殿建設計画を発表しました。

モンソン大管長はこう述べています。「神殿が人生と家族に影響を及ぼすものとなるために、わたしたち一人一人が清い手と純真な心をもってふさわしい生活をする必要がありますように。」³

次に、このようなすばらしい約束をしています。「わたしたちが神殿を大切に、神殿に触れ、神殿に参入するとき、その生活は信仰を反映したものとなります。聖なる神殿に

行くとき、そこで交わす聖約を思い起こすとき、わたしたちはあらゆる試練に耐え、それぞれの誘惑を克服することができるでしょう。」⁴

神殿を大切にすする預言者の模範に従いましょう。

5. 他の人に思いやりと配慮、愛を示しましょう。

モンソン大管長は、他の人を愛することの手本を示しています。大管長が仕え、教え導く業には、家庭を訪問し、あんしゅ 按手をして祝福を与える、突然電話をかけて慰めや励ましを与える、奨励や賛辞や感謝の手紙を送る、病院や養護施設を訪問する、多忙な日程にもかかわらず葬儀やお通夜へ行くなどの行為で満ちあふれています。

救い主がなさったように、トーマス・モンソン大管長は良い行いをして回り（使徒 10：38 参照）、祝福と愛を人々に注いでいます。それは、大管長の人生の原動力となっています。

2012 年、モンソン大管長の注目すべき思いやりの模範を目にしました。美しいユタ州ブリガムシティー神殿が竣工を迎えるとき、わたしは大管長会と会合を持ち、神殿の奉献の計画について話し合いました。ブリガムシティーはソルトレーク・シティーの北へわずか1時間の距離にあるため、モンソン大管長にとって奉献式に出かけることは、ごくたやすいことでした。

ところが、大管長はこう言ったのです。「ブリガムシティーはボイド・K・パッカー会長の生まれ故郷です。彼は十二使徒定員会で長年わたしと一緒に働いてきた立派な使徒です。彼に自分の故郷で神殿を奉献する名誉と祝福にあずかってもらいたいと思います。わたしではなく、パッカー会長にブリガムシティー神殿を奉献するよう割り当てます。彼にとって特別な日にしたいのです。」

その日はブリガムシティーで育ったパッカー会長夫妻にとってすばらしい日になりました。わたしは、モンソン大管長が同僚の使徒に対して示した思いやりと寛大な心にとても感動しました。わたしたちも皆、そのようにするとよいでしょう。分かち合い、思いやりをもって周囲の人のことをもつと考えるのです。

預言者の規範

モンソン大管長は総大会で靈感に満ちたすばらしいメッセージを語り、わたしたちが人生で歩むべき道を教えてきました。また注目すべきすばらしい模範を自ら示し、イエス・



救い主がなさったように、モンソン大管長は良い行いをして回り、祝福と愛を人々に注いでいます。それは、大管長の人生の原動力となっています。

キリストに従う方法を教えてきました。主はまさに、すべてのことに関して規範を与えてくださいました。わたしたちが従うよう努めるべき規範の一つは、愛する預言者の規範です。

わたしたちを御存じで、わたしたちを愛しておられる神が天にいらっしゃることをあかし 証します。神は、この末日にあって、わたしたちに指針と教え、導きを与える預言者をお与えになりました。主はわたしたちが預言者を愛し、支持し、彼の模範に従うように期待されていると確信しています。

トーマス・S・モンソンが主の預言者を務める時代に生きていることを大きな祝福であると思っています。わたしたちが預言者に従い、預言者のようになろうと努めるとき、主イエス・キリストの一層忠実な弟子となることができる日が、必ず来るでしょう。■

2013 年 5 月 5 日にブリガム・ヤング大学アイダホ校で開かれた教会教育システムディボーションからの抜粋。全文を読むには、[lds.org/broadcasts/archive/ces-devotionals/2013/01 ?lang=jpn](https://www.lds.org/broadcasts/archive/ces-devotionals/2013/01/?lang=jpn) にアクセスしてください。

注

1. "Messages of Inspiration from President Monson," *The Church News*, 2012 年 9 月 2 日付け, 2
2. 『主の用向きを受ける』(DVD)
3. トーマス・S・モンソン「神殿の祝福」『リアホナ』2010 年 10 月号, 19
4. トーマス・S・モンソン, *Blessings of the Temple* (1979 年), 56; 強調付加



フィリピン

海の島々に
見られる
霊的な力

53年という短期間のうちに、教会は、「東洋の真珠」として知られているフィリピンで驚くほど力強く発展を遂げてきました。

アウグスト・A・リムにとって、アメリカ合衆国から来た二人の若い宣教師から伝えられたメッセージは、自分がすでに真実であると知っていた原則を確認するようなものでした。若い弁護士でありクリスチャンであったアウグストは、絶えざる啓示を含む数々の教義についてこう述べています。これらのことは「わたしが高校時代、大学時代から信じていたことでした。」¹

数か月後に、アウグストは日曜日の教会の集会に出席することに同意し、モルモン書を読んでそれについて祈るようという勧めも受け入れました。「モロナイがわたしたちに助言したその同じ精神をもって、わたしは真面目にモルモン書を読み始めました。それが真実であるかどうか知りたいたいという思いでそれを読んだとき、数行読んだところで、証を得ました」と、彼は当時を思い出して述べています。²

1964年10月に、アウグスト・リムはバプテスマを受け、その後間もなく教会に加わった妻や家族とともに、フィリピンにおける末日聖徒イエス・キリスト教会の開拓者となりました。1992年にフィリピン人として初めて中央幹部に召されたことを含め、教会で数十年間忠実に奉仕を続けてきた今日、リム兄弟は、「東洋の真珠」に住んでいる数十万人の末日聖徒の信仰と献身を代表する人となっています。

肥沃な地

イエス・キリストがお生まれになるおよそ550年前に、主はモルモン書の預言者ニーファイに次のように約束されました。

「わたし〔は〕海の島々にいる者たちを覚えて〔おり〕……わたしの言葉を人の子ら、すなわち地のすべての国民にもたらず……。」(2ニーファイ29:7)。この特別な言葉を読んだ多くの人の心には、「海の島々」の一つのグループであるフィリピンのことが思い浮かびます。

およそ1億の人口を抱えるフィリピン共和国は、アジアの南東に位置する約7,100の島々から成る大きな群島であり、友好的で、快活で、謙虚な民の住む美しい熱帯の国です。しかし、この国は地震や台風、火山の噴火、高波、その他の自然災害にしばしば見舞われ、また多くの社会経済的な問題に苦しんでいます。広範囲に及ぶ貧困が繰り返し問題となっています。またフィリピンの人々は、繰り返す政情不安と経済危機に耐えてきました。

しかし、主の方法をよく知っている人々にとって、フィリピンは、福音の種をまくのに適した肥沃な地です。タガログ語やその他の土着の言語に加えて、フィリピンの多くの人々は、公用語でもある英語を話します。長期間スペインが統治していたため、国民の90パーセント以上がキリスト教徒であり、また残りの大多数がイスラム教徒です。

初めてフィリピンに教会を紹介しようとしたのは、1898年のアメリカ・スペイン戦争の戦時下でのことでした。ユタ出身の末日聖徒の軍人、ウィラード・コールとジョージ・シーマンが、出発前に宣教師として任命を受けたのです。二人は機会があるごとに福音を宣べ伝えました。しかし、バプテスマはありませんでした。



福音の原則を基として、フィリピンのヤングアダルトは、成功を収め、主の教会において力強い指導者となっている。

第二次世界大戦中に、数人の末日聖徒が、進軍する連合軍とともに島々を訪れました。1944年と1945年に、軍人グループが多くの場所で教会の集会を開き、戦争の終結後、多数の末日聖徒の軍人と支援業務従事者がフィリピンに残っていました。その中に、マキシ・テートと新会員のジェローム・ホロビッツがいました。二人はアニセタ・ファハルドに福音を紹介しました。マニラの空爆地域にアニセタの家を再建する助けをしながら、ホロビッツ兄弟は、新たに見いだした信仰をアニセタとその娘ルースに伝えたのです。

アニセタは証を得て、バプテスマを受けたいと思いました。しかし、教会は当時フィリピンの人々にバプテスマを執行することを許可していませんでした。島々に恒久的な教会ユニットがなかったからです。しかし、十二使徒定員会のハロルド・B・リー長老(1899 - 1973年)がアニセタの望みを知るところとなり、中央軍人委員会委員長としての立場で、リー長老はアニセタのバプテスマを承認しました。そして、1946年の復活祭の朝に、アニセタ・ファハルドは、軍人のローレン・フェレからバプテスマを受けました。そして現在、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員となった最初のフィリピン人として知られています。

伝道活動の開始

戦後、末日聖徒の軍人たちはフィリピンにもっと多くの正式

な教会ユニットが設けられることを期待し、その期待どおりに、教会のグループが2か所の米軍基地、すなわちクラーク空軍基地とスービック海軍基地で組織されました。1955年8月21日には、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長(1876 - 1972年)が、福音を宣べ伝える地としてフィリピンを奉献しました。しかし、法的制約があり、宣教師は1961年まで派遣されませんでした。

1960年に、当時十二使徒定員会補佐であったゴードン・B・ヒンクレー長老(1910 - 2008年)が、数日間フィリピンを訪問しました。「わたしは、伝道活動が世界のその他の多くの場所と同様に実り多いものになるという見通しについて述べました。」³ その翌年、マキシ・テート・グリムや南部極東伝道部のロバート・S・テラー会長などの教会員と教会外の友人たちによって行われた、多くの準備と法的手続きが整ったことで、ヒンクレー長老は島々に戻り、伝道活動を開始する地としてフィリピンを再奉献しました。

1961年4月28日にマニラ郊外で、ヒンクレー長老は、軍人の会員たちやアメリカ人の住民たち、一人のフィリピン人の会員すなわちデビッド・ラグマン、これらの人々から成る少人数のグループと集会を開き、「多くの人々がこのメッセージを受け入れて、祝福を得ることができるよう」、特別な祈りをささげました。⁴ 主のまことの僕しもべによって告げられたその言葉は、間もなく預言の言葉となったのです。

数週間後、最初の4人の宣教師、レイモンド・L・グッドソン、ハリー・J・マレー、ケント・C・ロウ、ネスター・O・レデスマが、マニラに到着しました。「フィリピンの人々は待っていたとばかりに福音を受け入れました。家族の長が教会に入る決心をすると、非常に多くの場合、家族全員が教会に入ろうとしました」と、ロウ長老は語っています。⁵

教会の発展

御業は進展し、1967年にはフィリピン伝道部が組織されました。その年の終わりまでに、伝道部の会員は3,193人となりました。そのうちの631人はその年の改宗者でした。1973年までに、フィリピンの教会は発展して、会員数はおよそ1万3,000人となりました。1973年5月20日に、アウグスト・A・リムを会長として、フィリピン・マニラステークが設立されました。1974年に伝道部が分割され、フィリピン・

マニラ伝道部とフィリピン・セブシティー伝道部が設立されました。

1975年8月に、スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）が、フィリピンで最初の地域大会を管理するためにマニラを訪れました。8月は暴風雨に見舞われた月で、マニラの外から来る人々の旅はさらに困難なものとなりました。ラオアグシティーの聖徒たちが乗ったバスはほとんど進めない状態でしたが、聖徒たちは泥の中からバスを押し出し、引き返さないように運転手に頼み込みました。別の聖徒の一人は、3日間かけて勇敢に嵐の海を越えました。なぜなら、一人の姉妹が述べているように、神の生ける預言者に会って話を聞くことが何より重要だったからです。

1898年——
二人の末日聖徒の軍人が、
アメリカ・スペイン
戦争時に
フィリピンで
福音を宣べ伝える。



1944 - 1945年——
さらに多くの
末日聖徒の軍人が、
第二次世界大戦中に
福音を宣べ伝える。

ヘクタール)の土地を購入する申請書を提出しました。その場所からはマリキナ溪谷を見渡すことができ、比較的多くの教会員が来やすい所です。その申請は承認され、1981年1月にその土地が購入されました。そして、教会の要望により、その通りの名称は「テンプルドライブ」と変更されました。

1982年8月25日の鋤入れ式には、台風の脅威があったにもかかわらず、約2,000人の教会員が、小舟や列車、バスで島の全域から集まりました。神殿の建設はすぐに始まり、1984年8月には奉獻の準備が整いました。

神殿の奉獻前に、およそ2万7,000人の教会員と教会外の人々が神殿を見学しました。二つの台風が48時間の間隔を置いて数日前にフィリピンを通り抜けた後であるにもか

1946年——
アニセタ・ファハルドが、
フィリピン人として初めて
バプテスマを受け
教会員としての確認を
受ける。



1955年——
ジョセフ・
フィールディング・
スミス大管長が、
福音を
宣べ伝える地として
フィリピンを奉獻する。

キンボール大管長は、1980年にも再びフィリピンを訪問してもう一つの地域大会を管理しました。また、フィリピンのフェルディナンド・マルコス大統領と短時間ですが会見しました。この会見は教会のために道を開くもので、やがて1983年にフィリピンに宣教師訓練センターが設けられ、その翌年にはフィリピン・マニラ神殿が奉獻されました。1987年には、マニラに本部を置くフィリピン／ミクロネシア地域が組織されました。

モルモン書の一部が、1987年にタガログ語に翻訳されました。現在、モルモン書は、セブアノ語を含むフィリピンの幾つかの言語に翻訳されています。

神殿の祝福

1980年12月、スペンサー・W・キンボール大管長は、神殿にふさわしい用地を見つけるため、教会の不動産部のディレクターをマニラに派遣しました。幾つかの場所を検討した後、ディレクターは、ケソンシティーの3.5エーカー（約1.4

かわらず、人々は神殿を訪れたのです。遠方からやって来た聖徒たちは、疲れ切っていましたが、元気に到着しました。多くの場合、彼らはマニラに来るのに遠回りをせざるを得ませんでした。それは道路が冠水し、川の氾濫で幾つもの橋が壊れていたからです。

神殿の美しさは、フィリピンの多くの著名人を含む訪問者たちに感銘を与えました。作家のセルソ・カルヌーガンは、「中に入るときに、創造主とまみえるだろうという、聖なる気持ち」を感じたと述べています。フィリピン警察の従軍牧師長であるピエンベニド・カスティージョ大佐は、神殿は「このような環境にいるおかげで天のことを深く考えられる場所」であると言っています。二人の修道女は、神殿は「まことに主の宮」であると感じました。フィリピン議会議員のエバ・エストラダカローは案内人に、「この地にもっと多くの神殿を建ててほしいです」と告げました。⁶

当時大管長会第二顧問であったヒンクレイ管長は、1984年9月25日火曜日に隅石を据える式を司会しました。



その後、日の栄えの部屋で9回の奉獻セッションが行われ、太平洋地区の16のステークと22の地方部から約6,500人の聖徒が様々なセッションに出席しました。

1984年9月27日に、最後の奉獻セッションが終了するとすぐに、パウロ・V・マリト・ジュニアとエドナ・A・ヤソナは、フィリピン・マニラ神殿で最初の夫婦として結婚しました。その神殿の初代会長、W・ガース・アンドラスがその結婚式を執り行いました。

大勢の教会員が、列を成し、儀式執行者をはじめとしてエンダウメントを受けました。神殿

をちょうど支払えるだけのお金を得ることができました。帰る家がないということで、レオニデスは不安でしたが、ベルナルドは、主が備えてくださると彼女にきっぱりと告げました。こうして彼らは、1985年に神殿でこの世においても永遠にわたっても家族として結び固めを受けたのです。彼らが払った犠牲はすべてふさわしいものでした。なぜなら、彼らは他と比較にならない喜び、高価な真珠を神殿で見いだしたからです。そして、ベルナルドの言葉どおりに、主は備えてくださいました。マニラから帰る途中、親切な知人が、彼らに

1961年——
フィリピンで正式に
伝道活動が許可され、
最初の宣教師4人が
到着する。

1967年——
フィリピン伝道部が
組織される。



1973年——
フィリピン・マニラステークが
設立される。

1974年——
フィリピン伝道部が
分割され、
フィリピン・
マニラ伝道部と
フィリピン・
セブシティー伝道部が
設立される。

1975年——
マニラで初めての
地域大会が
開かれる。

1983年——
宣教師訓練
センターが
マニラに
開設される。



儀式は夜を徹して翌日まで続きました。

会員たちは神殿に参入したいという望みが増すのを感じました。マニラから遠く離れて住んでいた人々は、小舟やバスで遠い距離を旅するために多くの犠牲を払わなければなりませんでしたが、それでも、彼らはやって来て、信仰と決意の経験を述べました。

ジェネラル・サントスに住むベルナルド・オベドサとその妻レオニデスにとって、遠いマニラの神殿に行くことは不可能に思われました。しかし、高価な真珠一つを買うために、行って全ての持ち物を売り払った商人のように（マタイ13:45-46参照）、この夫婦は、自分たちと子供たちが永遠の家族として結び固めを受けられるように、家売って旅費を賄おうと決意しました。彼らは家と持ち物の大半を売り払ったことで、9人家族のマニラへの船賃

緊急時の備えに関する扶助協会の集会では、
自然災害にしばしば見舞われる国で生活している姉妹たちにとって
価値のある情報が提供される。



フィリピンにおける会員数の推移



会員総数：
675,166人*

ワード/支部数：
1,134

伝道部数：17

神殿数：2
(ほかに建設中1)

家族歴史センター数：
167

1967年—3,193人
1970年—13,000人
1980年—17,424人
1990年—237,000人
2000年—373,000人
2012年—661,598人

*2013年9月現在

住む場所を提供してくれたのです。子供たちは学業を終え、家族は後に新たな地で自分の家を手に入れました。

2006年4月18日に、大管長会は、フィリピン・セブシティー神殿の建設を発表しました。その知らせを聞いて、多くの教会員が喜びの涙を流しました。「わたしたちは祝福されています。主が次の神殿の用地となるようにセブシティーを選んでくださったからです」と、セブシティー宗教教育インスティテュートディレクターであるシーザー・ペレス・ジュニアは語ります。

フィリピン・セブシティー神殿が奉献されてから数か月後、フィリピンの末日聖徒は再び喜びを味わいました。2010年10月2日、総大会の開会の話の中で、トーマス・S・

1984年—
フィリピン・
マニラ神殿が
奉献される。



1987年—
フィリピン/
ミクロネシア地域が
組織され、マニラに
本部が置かれる。



1987年—
モルモン書の
一部が
タガログ語に
翻訳される。



2010年—
フィリピン・セブシティー神殿が
奉献される。

モンソン大管長から、パンガシナンにおけるフィリピン・ウルダネタ神殿の建設が発表されたのです。

最善の時はこれからです

フィリピンにおける末日聖徒イエス・キリスト教会は、ほかの国々の教会に比べて比較的歴史は浅いですが、その島国における教会の行く末は輝かしいものです。これまでの教会の発展はすばらしく、最善の時はこれからです。中央幹部として奉仕するように召された二人目のフィリピン人、七十人のマイケル・ジョン・U・テー長老はこう述べています。「わたしたち〔フィリピンの末日聖徒〕はこれまで以上に自分を霊的に備える必要があります。御業はわたしたちの手助けがなくても前進しますが、手助けがあれば、一層前進するからです。」⁷

実際、21世紀が進むにつれて、さらに大勢のフィリピン人が教会のメッセージを受け入れ、海の島々に住むこのえり抜きの民への祝福となることで、回復された教会はその規模も

影響力も増し続けることでしょう。テー長老とフィリピンの聖徒たちにとって、「海の島々にいる者たちに対する主の約束は偉大である」というこの約束は、現在成就の途上にあるのです(2ニーファイ10:21)。■

注

1. アウグスト・A・リム。R・ラニアー・ブリッチ「『忠実、善良で、徳高く、真実の』フィリピンの開拓者たち」『聖徒の道』1998年2月号、44で引用
2. アウグスト・リム。ジェレネ・トピアス，“Augusto Lim: The Man of Many Firsts.”で引用
3. シェリ・L・デュー。Go Forward with Faith: The Biography of Gordon B. Hinckley (1996年)、213–215参照
4. ゴードン・B・ヒンクレー。『『忠実、善良で、徳高く、真実の』フィリピンの開拓者たち』『聖徒の道』1998年2月号、42で引用
5. ジェームズ・ネイル・クラークがケント・クライド・ロウに行ったインタビュー、2007年9月3日
6. フランシス・M・オーキオラ，“Temple Dedication Rewards Faith of Filipino Saints.” Ensign, 1984年11月号、107
7. マイケル・ジョン・U・テー，“Scriptures and Spiritual Preparation”〔地域会長会のメッセージ、2011年5月〕；lds.org.ph/index.php/literature

救いの計画 を用いて 質問に答える

教会機関誌

ラリー・ポーター・ガント

現代は胸躍る時代です。イエス・キリストの回復された福音が「暗黒から」もたらされています（教義と聖約1:30）。その結果、天の御父の子供たちの中で、教会員ではない多くの人々が「モルモン」について耳にする機会が増えてきています。聞き慣れない分かりにくい事柄を聞く人もいますし、親しみや安らぎを感じるような事柄を聞く人もいます。どちらの人も、疑問への答えを求めてわたしたちのところへやって来るでしょう。多くの答えが救いの計画の中に見いだされます。それは「偉大な幸福の計画」としても知られている計画です（アルマ42:8）。

最もよく聞かれる質問は次のようなものです。「わたしはどこから来たのでしょうか。」「わたしはなぜここにいるのでしょうか。」「わたしはこの世を去った後にどこへ行くのでしょうか。」これらの疑問はすべて、救いの計画の中に見いだされる真理によって答えることができます。こうした疑問に対して、聖文とわたしたちの預言者トーマス・S・モンソン大管長から得られる答えの幾つかを、以下にご紹介します。

イエス・キリストを信じる信仰

悔い改め

前 世

創 造

幕

現 世

わたしはどこから来たのでしょうか。

わたしたちは永遠の存在です。この世に来る前に、神の霊の子供として神とともに生活していました。モンソン大管長は次のように述べています。「使徒パウロは……わたしたちは『神の子孫なのである』と教えました〔使徒17：29〕。自分の肉体をこの世の両親から受け継いでいることを知っているわたしたちは、このパウロの言葉の意味を、もっと深く考えなくてはなりません。主はこのように宣言されました。『霊と体が人を成す。』〔教義と聖約88：15〕したがって、神から受け継いでいるのは、まさしくこの霊なのです。ヘブル人への手紙の著者は、神のことを『たましいの父』と呼んでいます〔ヘブル12：9〕。』¹

わたしはなぜここにいるのでしょうか。

地上における生活について、モンソン大管長はこう述べています。「わたしたちは次のことに心から感謝しています。賢明な創造主は地球を創造し、わたしたちをここに置いてくださいました。そして前世を忘却の幕で覆い、わたしたちが試しの生涯、すなわち神が備えてくださったすべてのものを受け取るにふさわしくなるために自らを証明する機会を経験できるようにしてくださいました。

明らかに、わたしたちがこの世にいる一つのおもな目的は、骨肉の体を受けることです。また、わたしたちは選択の自由という^{たまもの}賜物を与えられています。わたしたちは実に多くの面で、自由に自分で選択する特権にあずかっています。この世にあって、わたしたちは経験という厳しい教師からいろいろなことを学びます。また、善と悪を見分け、人生の苦楽を味わい、自分の行為には結果が伴うということに気づきます。』²

わたしはこの世を去った後にどこへ行くのでしょうか。

死はすべての人に訪れます。しかし、「人がもし死ねば、また生きるでしょうか。」(ヨブ14：14) モンソン大管長はこう述べています。「わたしたちは死によって人生が終わりを告げるのではないことを知っています。この真理は、いつの時代でも、生ける預言者によって教えられてきました。聖典の中にも見いだすことができます。モルモン書の中には、次のような慰めとなる具体的な言葉が記されています。

イエス・キリストの

福音について疑問を抱いたり、

他の人から

質問されたりしたとき、

どこで答えを

探したらよいのでしょうか。

最後まで
堪え忍ぶ

バプテスマ

聖霊の賜物

救いの計画について、どこでさらに詳しく学べるでしょうか。

1. 救いの計画は、モルモン書、教義と聖約、および高価な真珠の中で最も明確に教えられています。
2. 生ける預言者の言葉を、lds.org/general-conference?lang=jpnで読んだり視聴したりできます。救いの計画、幸福の計画、贖罪、昇栄、正義と憐れみ、悔い改め、復活などの言葉を探してみてください。
3. 『伝道活動のガイド——わたしの福音を宣べ伝えなさい』第3章のレッスン2「救いの計画」を参照してください。

『さて、死と復活の間の人の状態についてであるが、見よ、天使がわたしに知らせてくれたところによれば、すべての人の霊は、この死すべき体を離れるやいなや、まことに、善い霊であろうと悪い霊であろうと、彼らに命を与えられた神のみもとへ連れ戻される。

そして、義人の霊はパラダイスと呼ばれる幸福な状態、すなわち安息の状態、平安な状態に迎え入れられ、彼らはそこであらゆる災難と、あらゆる不安と憂いを離れて休む。』〔アルマ40：11－12〕³

わたしたちは復活した後、太陽のような栄光を持つ日の栄えの王国、月のような栄光を持つ月の栄えの王国、星のような栄光を持つ星の栄えの王国、または外の暗闇に行きます（教義と聖約76章参照）。

神はほんとうにおられるのだろうか。サタンは実在するのだろうか。

わたしたちがこの世に生まれる前に開かれた天上の大会議には、天の御父とイエス・キリストとサタンが出席していました。天の御父は救いの計画の一部として、地上へ行き、わたしたちの罪を贖^{あがな}う者をお求めになり、こう言われました。「『わたしはだれを遣わそうか。』すると、一人〔イエス・キリスト〕が人の子のように答えた。『わたしがここにいます。わたしをお遣わしてください。』また、別の者〔サタン〕が答えて言った。『わたしがここにいます。わたしをお遣わしてください。』そこで、主は言われた。『わたしは最初の者を遣わそう。』

すると第二の者〔サタン〕は怒り、その第一の位を守らなかった。そして、その日、多くの者が彼に従った。」（アブラハム3：27－28。教義と聖約29：36－37；モーセ4：1－4も参照）

わたしたちはサタンの誘惑を拒む力を持っているでしょうか。

天上の会議の後、サタンに従う道を選んだ3分の1の霊はサタンとともに追放されました。その霊たちとサタンは肉体のない霊の状態にとどまりました。預言者ジョセフ・スミスはこのように教えています。「肉体を持つすべての者は、肉体を持たない者を支配する力を持つのです。」⁴ ですから、サタンはわたしたちを誘惑することができますが、わたしたちにはそれを拒む力があります。

霊 界

死

復活





日の栄え

月の栄え

星の栄え

天の御父がわたしの祈りにお応えにならないように思えるときがあるのはなぜでしょうか。

「祈りは御父の意思と子の意思を互いに一致させる行為です。祈りの目的は神の御心を変えることではありません。」(Bible Dictionary, “Prayer”の項) 祈りはわたしたちが自分の選択の自由を使って自分の意思を神の御心に従わせるかどうかを決める助けとなる手段です(アブラハム 3:25 参照)。天の御父はいつもわたしたちの祈りにお応えになりますが、その答えは、「はい」か「いいえ」の場合もあれば、「まだ応えられない」という場合もあります。ふさわしい時期が重要なのです。

良い人生を送る努力をしているときに苦難に遭うのはなぜでしょうか。

苦難は救いの計画の一部です。わたしたちは苦難を通してイエス・キリストと主の福音に頼るようになるにつれて、一層強くなり、精錬され、清められます。天の御父は苦難に遭うわたしたちを支えてくださいます。試練は「[わたしたちに] 経験を与え、[わたしたちの] 益となる」のです(教義と聖約 122:7)。

どのようにして善悪を知ることができるのでしょうか。

神の子供は皆、「善悪をわきまえることができるように」(モロナイ 7:16)、生まれつきキリストの光を持っています。さらに、わたしたちの思いと心の中で聖霊が真理について証^{あかし}してくださり、平安と温かい気持ちを感じることができます(教義と聖約 8:2-3 参照)。

たとえ大きな罪を犯しても、赦されるのでしょうか。

善悪の選択を学ぶ過程ですべての人が罪を犯すことを、神は御存じでした。⁵しかし、すべての罪には罰が伴います。正義は罪人が罰を受けるよう要求します。憐れみ深い天の御父はイエス・キリストがわたしたち皆のために贖罪^{しよぐわい}を成し遂げ、正義の要求を満たすことを認められました(アルマ 42 章参照)。つまり、ゲツセマネにおけるキリストの苦しみとゴルゴタにおける死によって、わたしたちのすべての罪の代価が支払われたのです。ただし、その条件としてわたしたちは悔い改めて、福音の儀式を受けることにより、キリストの贖罪にあずかる必要があります。そうすれば、わたしたちの罪は赦されるのです(教義と聖約 1:31-32 参照)。■

注

1. トーマス・S・モンソン「人生というレース」『リアホナ』2012年5月号、91 参照。アブラハム 3:22 - 26 も参照
2. トーマス・S・モンソン「人生というレース」91 - 92 参照。アルマ 34:32 - 34 も参照
3. トーマス・S・モンソン「人生というレース」93 参照。教義と聖約 76:59 - 111 も参照
4. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』211
5. 幼い子供たちは、「責任を負うようになるまで」罪を犯すことはできません(教義と聖約 29:46 - 47 参照)。

なぜ分かったのかしら

大管長会第二顧問のディーター・F・ワークトドルフ管長は、2011年の中央扶助協会集会で、わたしを感動させ平安な気持ちにしてくれるメッセージを、扶助協会の姉妹たちに伝えました。忘れな草の小さな花について話し、その5つの花びらが、常に覚えておくべき5つの事柄を表していると語ったのです。¹

この集会の後、娘のアリッサが、小さな仕出し屋をしているジェシーという友達について話してくれました。ジェシーは中央扶助協会集会の後に出すデザートを作るよう、ステーキの扶助協会の指導者から頼まれていたのです。ジェシーは何を作るべきか即座に分かったとアリッサに言いました。250個のカップケーキです。アリッサは、そのカップケーキをステーキセン

ターに運ぶ役を買って出ました。

集会の日が来てアリッサが手伝いに行くと、ジェシーは泣き出しそうになっていました。カップケーキはできたのですが、その写真を親戚に送ったところ、集会に出すには見栄えがよくないと言われてしまったのです。

ジェシーは自信をなくし始めました。ステーキの扶助協会の指導者たちはこんな地味なカップケーキより、もっと手の込んだものを期待しているだろうと思ったのです。カップケーキのデコレーションをどうやり直したらよいか必死で考えようとしたのですが、時間がありません。ジェシーとアリッサはカップケーキをそのまま運びました。ジェシーは扶助協会の姉妹たちをがっかりさせるようなものを作ってしまったと気にしていたのですが、ワークトドルフ管

長の話聞いて、そうではないことが分かりました。

ワークトドルフ管長が小さな忘れな草の花について話すと、小さな青い花の写真がスクリーンに映し出されました。地味な花ですが、花びらが可憐で、非常に美しいものでした。ワークトドルフ管長のメッセージを聞いて、誰もが感動しました。管長は地味けれども大切な5つの真理を教え、周囲に咲く豪華な大輪の花に目を奪われるあまりに、その5つを忘れることがないようにと訴えたのです。

閉会の祈りの後、姉妹たちはカルチャーホールに行きました。アリッサとジェシーがホールに入ると、デザートテーブルを囲んで、皆、口々に「なぜ分かったのかしら」と言っています。

どのカップケーキにも白いフロスティングがかけてあり、地味ながらも、美しく可憐な5つの花びらを持つ忘れな草の花が、一つずつ飾られていたのです。■

ゲール・アッシュクロフト
(アメリカ合衆国アリゾナ州)

注

1. ディーター・F・ワークトドルフ「忘れな草」『リアホナ』2011年11月号、120

カップケーキはできたのですが、その写真を親戚に送ったところ、扶助協会の集会に出すには見栄えがよくないと言われてしまったのです。



希望を与えてくれた約束

結婚して間もなく、夫とわたしは息子に恵まれました。息子の笑顔を見たり、息子の目を見詰めたりすると、天の御父の恵みを感じました。わたしにとって、非の打ちどころのない息子でした。夫とわたしは、この貴い贈り物を下さったことを毎日主に感謝しました。

2009年2月19日のことです。わたしは学校に戻って最終学年の授業に出るため、荷造りをしていました。夫もわたしも、その翌日に息子が熱を出してこの世を去ることになるとは、思ってもいませんでした。

耐えられない出来事でした。ワードの会員が我が家に来て、聖文を読んだり賛美歌を歌ったりして慰めてくれましたし、ともに祈ってもくれました。心からの哀悼の言葉には感謝しましたが、息子を失った悲しみは癒えませんでした。息子のことを考えると涙があふれてきました。

息子が亡くなって4日後、『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』をよく読むようにという靈感を受けました。その本を手にとると、不意に「死に際して与える希望と慰めの言葉」という章が開きました。わたしはそれを読み始め、ジョセフとエマが結婚当初、子供を次々に亡くすという悲劇に見舞われたことを知って、大きな衝撃を受けました。そして、2歳の女の子の葬儀で話した預言者の言葉の抜粋の所まで来ると、頭に水が注がれるように、打ちひしがれた心から悲しみが引いていくのを感じました。

わたしは夫に声をかけて、一緒に読みました。「わたしは……幼児たち、罪のない子供たち、……がわたしたちから取り去られるのはなぜかを問うてきました。……主は多くの人々を、幼児さえも取り去られますが、それは彼

らが人のねたみやこの世の悲しみや悪事から逃れられるようにするためなのです。彼らは地上に住むにはあまりに純粋で、あまりに愛らしいのです。ですから、もし正しい考えを取るならば、わたしたちは悲しむよりも、喜ぶべきです。彼らは悪から救い出されているのであり、わたしたちはすぐに彼らと再会することになるからです。」

預言者はこう付け加えていました。「次のような疑問が心に浮かぶかもしれません。『母親は永遠に自分の子供たちの母親なのでしょうか。』そうです。そのとおりです。母親の皆さん、皆さんの子供たちは皆さんのものになります。彼らの負債は支払われており、彼らは永遠の命を得るからです。』¹

このすばらしい言葉を読んでからというもの、わたしたちは家族の祈りで、

イエス・キリストの贖い^{あがな}のおかげで息子と再び会えるという約束が与えられていることに、ひたすら感謝してきました。

今、わたしたちにはかわいい子供が3人います。亡くなった息子のきょうだいです。わたしたちはこの子供たちに永遠に続く真の福音を教えています。子供たちは福音に導かれて、天の御父と救い主イエス・キリストのもとに帰ることでしょう。

預言者ジョセフ・スミスが語った、死後の世界についてのメッセージは本当です。この言葉が、幕のかなたにも幕のこちら側にもいる家族に希望と喜び、幸せを与えてくれたことに、わたしは永遠に感謝します。■

ジュリアナ・ファイエフン(ナイジェリア、ラゴス)

注

1. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』176-177

その本を手にとると、
不意に「死に際して与える希望と
慰めの言葉」という章が開きました。



分け与えるものが山ほどありました

わたしは、非常時に家族や自分が生きていけるようにするための備えについてずっと考えてきました。しかし、1992年にフロリダ州南部で過ごしたある日曜日の朝以来、備えに対する考え方が変わりました。アメリカ合衆国を襲った数々のハリケーンの中でも最も破壊力が強く、最も経済的打撃の大きかったハリケーン・アンドリューが発生し、フロリダ州マイアミで素晴らしい夏を楽しむどころではなくなってしまったのです。

当時わたしは浜辺のアパートに一人で仮住まいをして、仕事のための3か月の訓練プログラムに参加していました。ハリケーン警報が発令され、昼までにはアパートから避難する必要があることが分かりました。仕事仲間とわたしのために、知人が内陸部のホテルに部屋を取ってくれていました。わたしは窓に板を打ち付け、身の回り品の荷作りをしました。

妻と子供たちが来て1週間ほど滞在することになっていたため、わたしは前もって、家族6人に足りるだけの

食料と水を購入していました。安全な避難場所が確保してあり、持って行く食料も数週間分あることが分かっていたので安心でした。

午前10時半に出ようと用意しながら、平安な気持ちを感じていました。すべてが順調でした。ひざまずいて祈り、自分が受けている祝福に感謝の言葉を述べ、嵐が来たら助けてくださいとお願いしました。祈り終えようとすると、「もし助けの必要な人がいたら、それが分かるようにしてください」と言うよう御霊がわたしを促したのです。

2、3分もしないうちに、夫に先立たれた80代の女性がドアをたたきました。「申し訳ありません。部屋が分からないのです。友人を捜しているのですが」と言うのです。

疲れ切った様子でした。何かお手伝いしましょうかとわたしが尋ねると、彼女は動揺した様子で、どうしたらよいか、どこに行ったらよいか分からないと言うのです。わたしは住所を聞いてこの女性のアパートまで一緒に歩いて行き、彼女が行うべきことを考えました。

自分の会社が確保したホテルには余裕があると思うので、そこに泊まったらどうかと持ちかけました。彼女は安堵のため息をつきました。わたしたちはそそくさと荷物をまとめて彼女のアパートの戸締まりをし、身の回り品を持ったか確認しました。そして、会社の仲間が彼女の車をホテルまで運転して行くよう手配してくれました。

さて、用意ができて部屋を出ようとすると、夫に先立たされた女性がもう二人、助けを求めてきました。わたしはこの女性たちが冷静になってきちんと考え、避難場所を見つけられるよう助けました。そして、同僚のところから荷物を運ぼうとしていたとき、また夫に先立たれた高齢の女性が助けを求めてきました。わたしたちはこの女性の持ち物のうち、壊れやすいものは安全な場所に置き、彼女が避難できるよう助けました。

その間、ほかの仕事仲間が、わたしたちと一緒に内陸部のホテルに宿泊するよう、島に住んでいた二人の大学生に呼びかけていました。この二人には、ほんの少しのスナック菓子と1リットルほどのミネラルウォーターしか食料がありませんでした。幸いなことに、わたしは食料を山ほど持っていましたから、この二人に与えるだけでなく、ほかの人たちにも分け与えることができたのです。

準備ができていて、主の導きを受けられるとは、何と素晴らしいことでしょうか。そのおかげでわたしは、大変なときに人々の気持ちを落ち着かせる役割を果たせましたし、自分の心配をすることなく、人を助けることに全ての時間を使うことができました。わたしは、備えなさいという神権指導者の勧告への認識を新たにすることができたのです。■

ブレント・フィッシャー
(アメリカ合衆国カリフォルニア州)

何かお手伝い
しましよかと
わたしが尋ねると、
その女性は
動揺した様子で、
どうしたらよいか、
どこに行ったら
よいか分からない
と言うのです。



日の出を待って

部屋が闇に包まれてもわたしは眠れず、夫の寝息に耳を傾けて、夫が眠っているのかどうか確かめようとしていました。12歳の娘が外傷性事故で突然世を去ってからまだ2日しかたっていません。わたしはもう一度目を閉じましたが、眠れませんでした。娘に会いたくてたまらないのです。救いの計画を知っているはずなのに、娘を失った悲しみは癒えませんでした。

夜が白み始めると、突然、娘にどうしても会いたくなりました。日が間もなく昇ると思うと、薄いピンク色に染まった空が心に浮かんだのです。娘はピンク色が大好きでした。ピンク色の日の出こそ、娘をもう一度近くに感じるために必要なのだと思いました。

「ねえ、日の出を見に行きましょうよ。」わたしは、寝ぼけ眼の夫にささやきました。

二人で玄関の前に立って東の方を見ながら、ずいぶんと待ちました。空は明るんでいるのに、雲が低く垂れこめていて、太陽は顔を出してくれません。

わたしは、夫の肩に頭を持たせかけてため息をつきました。日の出が見れなくてもかまわないと思っているふりをしたのです。でも、わたしはもっと劇的な光景を求めていましたし、わたしにはそれが必要でした。天の御父はわたしの娘をみもとに召したのですから、わたしのこの願いはかなえてくださるはずだと思いました。

家に入ろうとして振り返った夫は、西の空を見て、「ほら」と言いました。

わたしは振り返りました。背後の雲がほのかなピンク色に染まり、金色の光に包まれていたのです。息を飲みました。涙がこみ上げてきました。想像を超える美しさでした。娘が抱きついてきたように感じました。天の御父はわたしの心の痛みを御存じで、明るい

未来を約束するしるしを送ってくださっていたのです。この美しい光景は、家族は永遠であること、そしてすばらしい瞬間はこれから何度も訪れることをそっと思い起こさせてくれました。

わたしはこの美しい光景について、また、そのおかげで新しい視点から物事を見られるようになったことについて、何度も考えました。西を見て日の出を待つ人がいるのでしょうか。しかし、奇跡が待っていたのは西の空でした。祝福や奇跡は意外な場所からやって来るために、見逃してしまうことが多いのではないのでしょうか。固定観念から抜け出せないでいるために、ありのままの栄光を見逃していることが多いのではないのでしょうか。

わたしたちがひたすら祈り求めた

奇跡は起こりませんでした。が、視点を変えたら奇跡が見えてきました。娘の臓器提供を通じて4人の生活が改善されたという奇跡、家族の愛とワードの結末という奇跡、奉仕の奇跡が見えてきたのです。わたしは深い悲しみを経験しましたが、空を赤く染める日の出を見る度、バラ色の日の入りを見る度、そして、道端でピンク色の花を見かける度に、力強い希望で胸がいっぱいになるのも感じてきました。

わたしは日が昇ると東を見ますが、次に振り返って西も見るようになりました。奇跡も祝福も必ず見つかること、そしてわたしたちが望むならば、悲しむ心にも太陽は必ず昇るということを確認しながら、ほほえむのです。■
ジュリア・ワグナー（アメリカ合衆国オハイオ州）

家に入ろうとして
振り返った夫は、
西の空を見て、
「ほら」と言いました。
背後の雲がほのかな
ピンク色に
染まっていたのです。



慎み深い言葉遣い、振る舞い、
外見を心がけて生活することは、
わたしたちが光を輝かせ、
神に栄光を帰するのに
どのように助けとなるでしょうか。

わたしの栄光に

ひたすら目を向けるならば

キャサリン・ネルソンと
ハイディ・マッコンキー

前 世の天上の会議で、イエス・キリストは、救い主になることを志願されたとき、御父に次のように言われました。「父よ、あなたの御心が行われ、栄光はとこしえにあなたのものでありますように。」(モーセ4:2)

主は絶えず御父に栄光を帰することの模範を示されました。地上で務めを果たしておられたとき、救い主は決して御自身に注目を集めようとされず、次のように教えて、弟子たちが御父に目を向けるようにされました。「わたしを信じる者は、わたしを信じるのではなく、わたしをつかわされたかたを信じるのであ[る]。」(ヨハネ12:44) 態度、外見、言葉遣い、行動において、救い主は慎み深くあることの大切さをお教えになりました。

この記事に登場するヤングアダルトは、救い主に従おうとひたむきに努力する中で、自分が内面と外見の両方でどのように慎み深さを表しているか振り返ります。そして、神に栄光を帰するという決意がどのように自分の人格を形作り、行動の指針となってきたかを紹介します。

神に栄光を帰し、光を輝かせる

実際に慎み深さとは何であるかを理解するとき、慎み深さがどのように神に栄光を帰するものであるかが一層よく分かります。『真理を守る』では次のように説明されています。「慎み深さとは服装、身だしなみ、言葉遣い、行動に表れる謙遜で上品な態度を指します。慎み深い人は必要以上に注目を浴びようとはしません。その代わりに、『自分の全身全霊で、神の栄光をあらわ』そうとします(欽定訳1コリント6:20から和訳。19節も参照)。」¹

わたしたちは救い主のように慎み深さを表すようになると、生活に御霊を招き、「あなたがたがわたしの栄光にひたすら目を向けるならば、あなたがたの全身は光に満たされ[る]であろう」との約束が成就するでしょう(教義と聖約88:67)。他のヤングアダルトが慎み深さをどのように理解しているかを読むときに、慎み深さに対する心中の決意を強め外への表し方を改善するような調整を行い、自分の霊的な光を増す方法について考えることができます。

言葉遣いと行動において慎み深くなる

「あなたの言葉と行動はあなた自身と周囲の人々に深い影響を与えます。清く、肯定的で、人を高める言葉遣いと周囲の人々に幸福をもたらす行動を通して自分を表現してください。慎み深い言葉と行いを心がける人は、聖霊からもっと多くの導きと慰めを受けられるようになります。」²

ロシアのボルゴグラードに住むダリヤ・セルゲーエブナ・シュビドコは、慎み深い言葉遣いとは、人に敬意を示し、「荒々しい言葉や不適切な言葉を使わずに、穏やかな口調で自分の考えを落ち着いて述べる」ことであると説明しています。慎み深い言葉遣いには、うわさ話や冷やかな言葉、あざけり、批判はありません。人を見下したり、高慢になってうぬぼれたりすることはありません。天の御父のすべての子供たちに思いやりを示し、彼らの神性を認めます。

わたしたちは話をするときに、神会に対する敬意も表すべきです。「世の中では当たり前となっていますが、下品な言葉遣いや、なれなれしい不敬



な態度で主の御名を乱用することは避けてください。……敬虔とは相いれないような言葉遣いや行動は、聖霊の静かな促しにこたえる能力を損ないます。」³

うわさ話や人をあざける言葉など、慎みのない言葉遣いが人間関係を損ねることがあるのと同様に、慎み深い言葉遣いは神への献身を育みます。また、アメリカ合衆国ユタ州に住む

「慎み深さとは服装、身だしなみ、言葉遣い、行動に表れる謙遜で上品な態度を指します。慎み深い人は必要以上に注目を浴びようとはしません。」

ケリー・プルーが説明するように、慎み深い言葉遣いによって「人と建設的な関係を築く能力が増し、慎み深い言葉遣いはほかの人の最善の長所を引き出すのに役立ちます。」

慎み深い言葉遣いと慎み深い行動は、切っても切れない関係にあります。「言葉遣いと行動において慎み深くあることは大切です。なぜなら、言動によって、自分が何者であり、何を重んじているかが明らかになるからです」とユタ州のマイク・オルセンは言います。言葉と行いが一致しないと、周りの人はそのことに気づき

ます。人を高め、神に栄光を帰する言葉遣いには、それに相応する行動が伴わなければなりません。奉仕と思いやりの行動を通して、わたしたちは人を高め、神に栄光を帰したいという決意が口だけではないことを表します。わたしたちは言葉と行いにおいて弟子としての模範を示すことで、周りに良い影響を及ぼすことができます。

「慎み深い行動と言葉遣いは本当に大切だと思います」とアメリカ合衆国コロラド州に住むキャリー・カールソンは語ります。「謙遜であって、注目を集めたいという動機では行動しない人を見るのはとても気持ちがいいです。慎み深い話し方をする人は、主の力強い器となります。」

服装と外見において慎み深くなる

「慎み深い〔服装〕は、生まれながらの人ではなく、霊的な面に焦点を当てる助けとなって、わたしたちの長所を引き出すのに役立ちます」とユタ州のポール・ケイブは言います。わたしたちは慎み深い服装をすることで、わたしたちと知り合い、わたしたちの外見ではなく個性と人柄を見るよう人々に働きかけます。

わたしたちがどのような服装をするかは、どう接してほしいかをほかの人に示すだけでなく、自分自身をどのように見て、どのように扱うかにも影響を及ぼします。「わたしたちは福音によって、肉体が神からの賜物であることを学びます」とブラジルに住むルイス・ダ・クルス・ジュニアは言います。「肉体はわたしたちが成長して御父のようになるのを助けてくれます。だから、慎み深い服装をすることは大切

です。そうすることで、わたしたちがこの賜物やほかの人を重んじていることを神や人々に示すのです。」⁴

キャリーはこう説明します。「慎みのない服装は、肉体を個性と人格を持つ霊から切り離された物質的なものとして表現することが目的です。慎み深くあることは、時には通常よりお金がかかったり、明らかに時間がかかったりします。しかし、慎み深くあることによって、自分の肉体が神性な可能性と行く末を持っていて、天の両親によって命を受けて育てられた貴い霊の器であることを学びました。世の人々がするよりももっと気遣いと敬意を自分の肉体に向けるべきです。」

『真理を守る』にはこう教えられています。「肌があらわになる衣服を避けるだけでなく、極端な服、外見、整髪は避けるようにしましょう。いつも身だしなみを整えて清潔にし、だらしなく不適切にカジュアルな服や身だしなみ、態度は避けるようにしましょう。」⁵ わたしたちはどのような服装や外見をするかで、神と自分と他の人への敬意を伝えるのです。

一貫して守ることを決意する

慎み深さに関する福音の標準に従おうとするとき、都合のよいときだけでなく、いつも主の戒めを守ることにより一貫した態度を持ち続けることで決意を表します。

真の決意は常に福音の原則に根ざしています。ユタ州に住むアンソニー・ロバーツはこう説明します。「慎み深さは心の状態です。福音と救いの計画を理解して毎日を生きたいという望みです。」あらゆる点で福音に従って生活しようと

するとき、わたしたちはさらに深く改心し、福音の原則に従って生活したいという望みを増すことができます。

神から受け継いだ特質を理解する

一貫して慎み深さを実践することは、自分の生得権を理解してその価値を認めるうえで助けとなり、神から受け継いだ特質を知ることによってさらに慎み深くなるように促されます。イタ



リア・フィレンツェに住むラファエラ・フェリーニは次のように説明しています。「慎み深くあることで祝福を頂いています。自分が天の御父の特別な娘であると実感するのに助けとなるからです。それを知ること、また慎み深くありたいと思うのです。」

自分が何者であるかを世の人々に定義されると、自尊心が損なわれることがあります。ユタ州のジュリアナ・アウナは次のような経験をしたと言います。「慎み深さの原則について証^{あかし}を得る前のわたしは不幸せで、霊的

に危険な場所にいました。世の人々にわたしという人間を定義されたことで、わたしは落ち込み、霊的に大きな打撃を受けました。この世的な、物質的なものに対する世の人々の執着心は、残酷で情け容赦がありません。あるとき、わたしは世の声を聞くのをやめて、神と自分の関係によって自分を定義付けようと決めました。すると、生活がもっと楽に、もっと自由に、そしてもっと幸福なものになりました。」世の人々ではなく、天の御父に認めていただくするとき、わたしたちは生活の中で一層大きな喜びを見だし、もっと慎み深くあろうという気持ちを抱くようになります。

慎み深い生活をする

「慎み深さは、言葉遣い、外見、振る舞い、さらには訪れる場所など、わたしたちのすべての行動に表れます」とロシア・ノボシビルスクに住むガリーナ・ビクトロブナ・サブチュクは言います。慎み深い生活は、福音に対するわたしたちの決意と、神との関係に密接に関わっています。

真の慎み深さは行動と態度の両方を合わせ持っています。行動か思いのどちらかを改善しようと努力すると、もう一方も改善する助けになります。一生涯守ることを決意せずに慎み深い行動や外見をしても、慎み深い生活がもたらす祝福をすべて受けることはできません。また、行動が伴っていないのに自分は慎み深い人間だと思いつくことは、自分を欺く行為です。⁶

慎み深さに関して、神の栄光にひたすら目を向けるということは、わたしたちが外見的にも内面的にも慎み

深い生活をする決意をしているということです。神に目を向ける必要があるのと同様、わたしたちの外見と行動は慎み深さの原則と一致していなければなりません。しかし、神にただ目を向けるだけでは、神の栄光にひたすら目を向けることになりません。常に神に焦点を合わせる必要があります。同様に、慎み深い服装と身だしなみも永遠の原則に目を向けて整えなければなりません。

わたしたちは、神に目を向けるとき、思いを神に集中するのがより簡単になります。同じように、思いを神に集中するとき、自然に神の指し示される方に目を向けるようになります。

慎み深い生活をしようとするとき、生活の中で御霊の影響を一層強く感じます。十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老はこう教えています。「御霊を受けるふさわしさを保つうえで慎み深さは欠かすことができません。慎み深くあることは謙遜さにつながり、謙遜であることによって御霊を招くのです。」⁷ わたしたちの思いと行動を導く御霊を受けるなら、わたしたちは神の栄光にひたすら目を向け、光に満たされることでしょう。■

キャサリン・ネルソンはアメリカ合衆国ユタ州在住、ハイディ・マッコンキーはアメリカ合衆国デラウェア州在住です。

注

1. 『真理を守る——福音の参考資料』148
2. 『真理を守る』149
3. 『真理を守る』149 - 150
4. 『真理を守る』148 参照
5. 『真理を守る』149
6. リン・G・ロビンズ「あなたがたはどのような人物であるべきか」『リアホナ』2011年5月号、103 参照
7. ロバート・D・ヘイルズ「慎み深さ——主への敬意」『リアホナ』2008年8月号、18

フィンランド

における改心と犠牲

メリッサ・ゼンテノ

フィンランド・ヘルシンキの海岸から数キロ沖合に、スオメンリンナの海防要塞があります。この要塞は、侵略を防ぐために18世紀に築られました。スオメンリンナ要塞は6つの島にまたがって建造されており、フィンランドの人々の確固とした決意を象徴しています。

しかし、首都を訪れるフィンランドの教会員は別の建物に足を運びます。フィンランド・ヘルシンキ神殿は、彼らの改心と福音に従って生活するときに受ける守りの物理的な象徴です。

フィンランド・ロバニエミに住む24歳のヤングアダルト、ニーロ・ケルビネンにとって、10時間に及ぶヘルシンキへの列車の旅は、神殿で奉仕できる祝福に比べればわずかな代償です。

2006年10月にフィンランド・ヘルシンキ神殿が奉献される以前、ニーロと彼のワードの会員は、スウェーデン・ストックホルム神殿か、デンマーク・コペンハーゲン神殿まで行かなければなりません。「通常、夏休みに1週間かけて行きました」とニーロは振り返ります。神殿への道中、バス

で旅をしたこととテントで寝たことがいちばんの思い出と言います。

とはいえ、母国に神殿があることはすばらしい祝福です。「ヘルシンキ神殿の建設が発表されたとき、本当にうれしかったです」とニーロは言います。「今でも、神殿に入る度に奉献の祈りが心に響き渡ります。」

神殿を愛するこの心を持っていることは、ニーロが友達と違う点です。「フィンランド人は勤勉であり、活動的な生活を楽しみますが、生活の中で霊的な事柄に費やす時間をあまり取りません」とニーロは説明します。いつも良い友達に恵まれていたものの、大人になるにつれて、友達の生き方と自分が教えられた生き方の違いがはっきりしてきました。この違いのおかげで、ニーロは17歳のときに自分の証^{あかし}を求めました。「自分がどこに立ち、どのような人物になりたいのかを決める必要がありました」と彼は語ります。「主の祝福と、家族や良い友達の導きによって、教会に対してさらに強い証を得ました。」

十二使徒定員会のデビッド・A・ベド

フィンランドの忠実なヤングアダルトの生活はどのようなものでしょうか。ある青年が自分の文化と信仰を紹介します。

ナー長老は、改心について次のように述べています。「わたしは約束します。真理を知るようになり、主に帰依すると、確固として堅固でいられ、決して道を踏み外しません。」¹ ヘルシンキまでの旅は時間とお金がかかりますが、ニーロはキリストの弟子になることを決意しています。そして、ニーロにとって、それは決して犠牲ではないのです。■

注

1. デビッド・A・ベドナー「主に帰依する」『リアホナ』2012年11月号, 109

ニーロについて

フィンランド人は普段どのようなものを食べますか。

わたしの大好きな料理として、サーモンスープやマッシュポテトを添えたトナカイの肉があります。わたしたちはライ麦パンもよく食べます。

どんなことをして遊びますか。

わたしはスノーボードをしたり、映画を見たり、外で散歩したりするのが好きです。日本で伝道したので、できるときは日本語を勉強します。

フィンランドではどのようなデートをしますか。

フィンランドにはデートの文化があまりありません。通常、相手に対してかなり興味が強くなってからデートに誘います。この国では、デートは誰かと知り合う手段ではありません。多くの会員はいませんが、忠実なヤングアダルトがいます。ヤングアダルトの会員の中には、ヤングシングルアダルトのダンスパーティーで知り合った相手とデートするために遠くまで出かけて行く人もいます。

フィンランドにおける教会

末日聖徒の人数
4,715

ワード数 15

支部数 15

ステーク数 2

伝道部数 1

神殿の数 1
(2006年10月
22日に奉献)

数字でみると

人口 525万人
(2012年1月現在)

湖の数 18万7,888

島の数 17万9,584

サウナの数 220万

その他の情報

首都 — ヘルシンキ

言語 — フィンランド語
(スオミ語)



主の業における 男性と女性

人に神権の力を与える天の御父の偉大な計画の中で、
男性と女性には異なる役割がありますが、両方とも等しく貴重な役割です。



十二使徒定員会
M・ラッセル・
バラード長老

地上の神の王国を強め、築き上げるために女性が持っている欠くことのできない役割があります。わたしは、そのことに関して、男性と女性の両方が理解すべき幾つかの真理があると信じています。非常に多くの点で、女性は教会の中心となっています。そこで、わたしは主の助けを借りて、教会の忠実な成人女性と若い女性の皆さんに称賛の言葉を贈りたいと思います。愛する姉妹の皆さん、皆さんがこの地上のどこに住んでいるとしても、大管長会と十二使徒が皆さんに抱いている深い愛と信頼をぜひ知っていただきたいと思います。

まず手始めに、わたしたちがこの地上で行っている業についてのおさらいをしましょう。

わたしたちは天の御父から愛されている霊の息子と娘です。前世で天の御父とともに住んでいました。「人の不死不滅と永遠の命をもたらす」(モーセ1:39)という目的を果たすため、天の御父は、御自身の子供たちが最高の栄光に到達できるように一つの計画をお作りになりました。御父の計画は、人が墮落することと、この死すべき世に生を受け、肉体を得て、試しの期間に入ってしばらくの間御父と離れることを必要としました。御父の計画

には、墮落から人類を贖^{あがな}うために救い主が備えられていました。主イエス・キリストの贖罪^{しよくざい}により、福音の儀式と聖約を通して、神の前に戻るための道が備えられました。わたしたちは危険なものと注意をそらすものでいっぱい^{あがな}の現世という環境の中で人生を送るので、人間が持つ力よりも大きな力を必要とすることを天の御父と神の御子は御存じでした。わたしたちが御二方の力に頼る必要があることを知っておられました。福音とキリストの教義は、受け入れるすべての人に、永遠の命に到達する力とこの世の旅路で喜びを見いだす力を授けるのです。

神の計画や教会における女性の地位に関して疑問を投げかける人たちがいます。国内外のメディアから何度もインタビューを受けましたが、わたしが対応した記者のほとんどは、この問題に関して先入観を持っていました。教会において女性は二流の存在であるとでも言いたげな質問をする人が何年もの間多くいたのです。このような考えは全く正しくありません。

この大切な問題について深く考えるに当たり、5つの要点を提案しましょう。

1. 神はわたしたちが永遠の命に到達するのを助ける計画を持っておられる

天の御父は、女性と男性の両方を創造されました。わたしたちは神の霊の娘と息子なのです。このことは、性の区別が永遠であることを意味しています。神には計画があります。それは、御自身と御子イエス・キリストに従うことを選ぶ全ての人が、永遠の命を受け継ぐ者という行く末に達するのを助けるために作られた計画です。

天の御父と御子のいちばん大切な目標と目的が、わたしたちが最終的に昇栄することであるなら、またわたしたちが理解しているように、御二方が全知で完全であられるなら、御二方は、わたしたちが昇栄の資格を得る可能性が最大になるように備え、教え、導くための最良の方法を理解しておられるはずなのです。

ほとんどの人には、種々の困難な社会問題を経験したこと

のある家族や友人がいます。一般的に、問題について議論しても解決にはなりませんし、事実、口論になるだけでしょう。だれもが納得のいく回答をするのが難しい微妙な問題に関して、教会の立場を尋ねられることがあります。しかしながら、これらの困難な状況でどう感じ、どうすべきかについて主を求めて祈るとき、次の言葉が心に浮かびます。「イエス・キリストを信じていますか。キリストと御父に従いますか。」教会のほとんどの人は、一度ならず、求められる全てのことができるかどうかと思案するがあると思います。しかし、本当に主を信じるなら、次のような確信が得られます。「わたしはイエス・キリストを信じています。そして、主がわたしにしてほしいと望まれることは何でも喜んで行います。」こうして、わたしたちは前進するのです。「わたしはイエス・キリストを信じます」とは、何と力強い言葉でしょうか。



わたしたちの証と心の平安と幸福は、天の御父がわたしたちにとって何が最善かを知っておられることを進んで信じるるところから始まるのです。

2. 教会は神権の鍵を通して管理されている

末日聖徒イエス・キリスト教会は主の教会です。そしてこの主の教会は、神権の権能と神権の鍵を通して、またそれによって管理されています。「神権の鍵とは、地上における神権の行使について指示を与え、支配し、統治するために神が神権指導者に与えられた権能である。」¹

神権の鍵を持つ人は、定員会の鍵を持つ執事であったり、ワードの鍵を持つビショップであったり、ステーキの鍵を持つステーキ会長であったり、あるいはすべての神権の鍵を持つ大管長であったりしますが、彼らは文字どおり、その指示の下に忠実に働き奉仕する全ての人が、神権の権能を行使し、神権の力を使うことができるようにするのです。

すべての男女は、鍵を持つ人の指示の下に奉仕します。これが、主が御自身の教会を管理される方法です。

2013年4月の総大会でわたしが述べたことについて以下のとおり繰り返したいと思います。「人に神権の力を与える天の御父の偉大な計画の中では、男性は神権をつかさどるたぐいえない責任を負いますが、男性だけが神権の業に携わるわけではありません。男女には異なる役割がありますが、両方とも等しく貴重な役割です。女性は男性なくして、子供をもうけることができないように、男性は女性なくして、永遠の家族を築くために神権の力を十分に行使することはできません。……永遠の観点から見ると、子供をもうける力も神権の力も夫婦が分かち合うものです。」²

なぜ神権の職に聖任されるのは男性であって女性ではないのでしょうか。ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008年）は、「主の教会で男性が神権を受けるように定められたのは」人ではなく主御自身であること、そして、「神の教会であり王国でもあるこの偉大な驚くべき組織を完成させる力」³を女性に与えられたのも主御自身であることを説明しています。しかし結局のところ、御自身の教会をどうしてこのように組織されたかを、主は明らかにしておられないのです。

教会で行われている全ての教えの約半分は姉妹によって行われていることを忘れないようにしましょう。多くの指導力が姉妹によって発揮されています。多くの奉仕の機会や活動が女性によって計画され指導されています。ワード評議会、ステーキ評議会、教会本部の中央評議会における女性の助言やそのほかの関与によって、必要な見識、知恵、バランスがもたらされています。

教会のあらゆる働きにおいて天から完全な祝福を受けるには、女性と女性が持つ独特の霊的な賜物を尊ぶ男性と、男性が持つ神権の鍵を尊ぶ女性との両方が必要なのです。

3. 男性と女性は等しく大切である

男性と女性は、神の目から見て同等であり、教会の目から見ても同等ですが、同等というのは、男女がまったく同じであるという意味ではありません。男性と女性の責任と天との賜物は、その本質において異なっています。しかし、重要度や影響力が異なるということではありません。教会の教義は、女性を男性と同等に置いています。女性は男性と異なっていることを示しています。神はどちらかの性がもう一方の性より優れているとか、大切であるとは見なしておられません。ヒンクレー大管長は女性に対して以下のように宣言しました。「永遠の御父は……御自身の創造物の最高傑作として女性を創造されたのです。」⁴

男女には異なった賜物、強さ、物の見方、気質的な傾向があります。これが、互いを必要とする基本的な理由の一つです。男女が家庭を作り、男女が主の業を行うのです。夫と妻が義にかなってともに働き、互いを完全にします。天の御父の計画とわたしたちの人生の目的を変えようと試みないように注意しましょう。

4. わたしたちは皆神権の力によって祝福される

男性と女性が神殿に参入するとき、彼らはともに同じ力を授けられます。それは神権の力です。神権の権能が神権の鍵を通して働いている間は、神権の鍵はふさわしい男性によってのみ所有され、用意されている神権の力と祝福を神のすべての子供たちが受けることができるのです。天の御父



は、その力を惜しみなく使ってくださいます。すべての男女は、生活の中でこの力から助けを得ることができます。主と聖約を交わし、その聖約を尊ぶ人は皆、個人の啓示と天使の働きの祝福を受け、神と親しく交わり、完全な福音を受け、そして最終的には、イエス・キリストとともに御父の持つておられる全ての相続人となるのです。

5. わたしたちは教義を理解し証を述べる必要がある

わたしたちは、キリストの教義を理解し、できる限りの方法で回復について証をする教会の女性を必要としています。この地上の歴史で、今よりも複雑な時代はありませんでした。サタンとその僕たちは、人を誘惑する方法を数千年の間に数多く生み出し、人類の中にあつて神と主イエス・キリストに対する信仰と信頼を打ち壊すことにたけているのです。

わたしたちすべて、すなわち男性、女性、ヤングアダルト、青少年、少年少女がこぞつて、主と主の教会を擁護し、守り、地の全面に広めるのです。女性ならではの影響力のある声と信仰がさらに必要です。すべての物事の真理について証を述べるができるように、女性の皆さんが教義を学び、わたしたちが信じていることを理解する必要があります。そのような証を述べる機会は、若い女性キャンプのキャンプファイヤーや、証会、ブログ、フェイスブックであってもいいのです。聖約を交わした神の女性がどのような人で、何を信じているかを世界に示せるのは、女性である皆さんだけなのです。

姉妹の皆さん、皆さんが影響を与える分野は独特であり、男性の分野とは異なります。神の娘である皆さん以上に強い力をもって救い主を擁護できる人はほかにいません。皆さんは、そのような強さと確信を内に秘めているのです。改心した女性の声の持つ力は計り知れず、今教会はこれまで以上に女性の皆さんの声を必要としているのです。

わたしたちは今、一つにならなければならない時代にいることを証します。わたしたち、すなわち男性、女性、若い男性と若い女性、少年少女が、団結しなければなりません。天の御父の計画を支持するのです。天の御父を擁護しなければなりません。天の御父は人々から拒まれていました。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として何もしないで見ていることはできません。わたしたちの声を届けるに十分な勇気を持たないで成り行きに任せることはできないのです。

神が皆さんを祝福してくださり、福音の分かりやすい真理を学んで理解するための勇気を皆さんが持ち、あらゆる機会をとらえて真理を分かち合うことができますように。■

2013年8月20日にブリガム・ヤング大学で行われたデイポーションナルの説教から。英語の全文を見るには、speeches.byu.edu にアクセスしてください。

注

1. 『手引き 第2部 —— 教会の管理運営』2.1.1
2. M・ラッセル・バラード「『これがわたしの業であり、わたしの栄光である』」『リアホナ』2013年5月号、19
3. ゴードン・B・ヒンクレー「教会の女性」『聖徒の道』1997年1月号、79 参照
4. ゴードン・B・ヒンクレー「世の策略に対抗して立つ」『聖徒の道』1996年1月号、110 参照

奉仕するために備え、 備えるために奉仕する

神が皆さんにアロン神権を授けられたのは、皆さんの現在と将来に用意された業があるからです。



中央若い男性会長
デビッド・L・ベック

ジョナサンはわたしの友人で、4年前に教会に入りました。家族の中でたった一人の教会員です。アロン神権を受けてから、人々に奉仕し始めました。以前にそのような奉仕をしたことはありませんでした。ジョナサンは、奉仕をするためにたくさん学ぶ必要があることを知りました。また、ふさわしくなってもっと信頼されるようになりたかったので、福音を学び、祈り、日曜日の集会とセミナーに出席しました。一生懸命に努力して、戒めと教会の標準を守りました。立派なホームティーチャーになることを含めて、勤勉に神権の義務を果たしました。『神への務めを果たす』の冊子は、神権の義務を理解するうえでも、それを果たす方法を学ぶうえでも助けになりました。

忠実に神権の奉仕をすることにより、ジョナサンに霊的な強さがもたらされました。それは、悪の影響から自らを守る助けとなりました。奉仕することを通して大きく成長したので、将来への備えができました。さらに昨年、ふさわしさが認められてメルキゼデク神権を受け、神殿でエンダウメントを受けました。彼は今、宣教師としてブラジルで奉仕しています。

アロン神権は、しばしば「備えの神権」と呼ばれます。神が皆さんにアロン神権を授けられたのは、皆さんの現在と将来に用意された業があるからです。アロン神権を受けて忠実に奉仕することは、これから数年先のさらに大いなる奉仕の機会に備えることになります。ジョナサンのように、皆さんは「メルキゼデク神権を受け、神殿の祝福に

あずかり、専任宣教師として奉仕し、愛にあふれる夫や父親となり、生涯にわたってたゆまず主に仕えるために備え」ているのです（『真理を守る——福音の参考資料』8）。

天の御父が皆さんのために用意されたすばらしい機会について全て詳しくは分からないかもしれませんが、アロン神権者として以下のことを行うよう心に留めておくなら、立派に奉仕ができるように備えられるでしょう。わたしはそう確信しています。

イエス・キリストに従う

神権者として、皆さんはイエス・キリストを代表しています。これは、イエスに従うよう、またイエスであればされるだろうことを行うように求められているという意味です。イエスであれば、どうされるでしょうか。あらゆる状況において、イエスは人々に仕え、人々を祝福するために御自身の生涯をささげられました。皆さんもそうするべきです。人々に奉仕するために自分自身をささげてください。そのようにするなら、成長し向上して、もっと自分自身をささげることができるようになります。イエスは青年のとき、どのように成長されたかを思い出してください。イエスは「ますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛された」のです（ルカ2:52）。

救い主に従うということには、若いうちに知恵を得て、肉体的に健康になることが含まれます。そのためには、一生懸命に働いて、いつも最善を尽くすことが求められます（教義と聖約4:2



アロン神権者 ——

以下の召しや責任に対して
どのように準備できるでしょうか ——

以下の事柄を通して
イエス・キリストに従う

- 毎日の祈りと福音の学習
- 従 順
- 神の御心みこころを求める

メルキゼデク神権を
受ける

以下の神権の儀式を執り行う

- 聖餐せいさんを祝福する
- 人々にバプテスマを施す

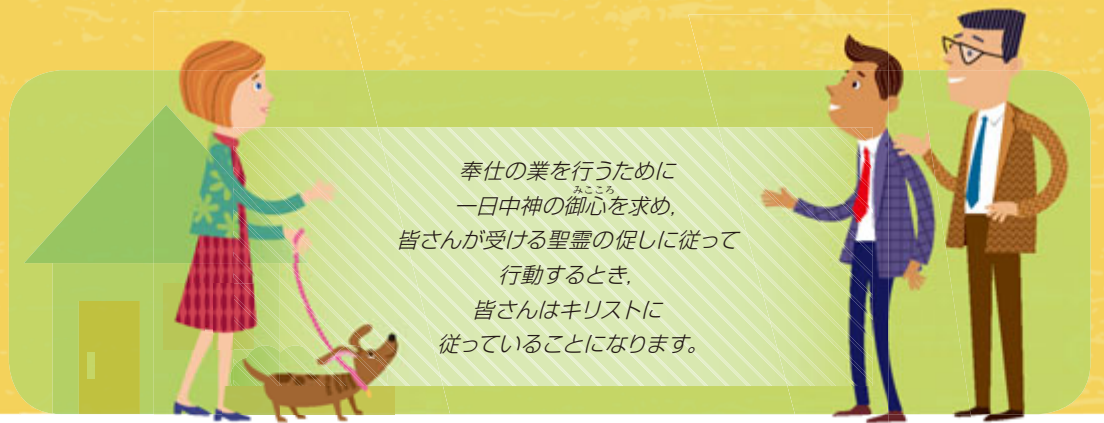
神殿の祝福を受ける

以下の事柄によって
常に仕え、教え、導く

- 家族と定員会会員を
強める
- あまり活発でない会員を救助する
- 困っている人に奉仕する

伝道に出る

夫や父親になる



奉仕の業を行うために
一日中神の御心みこころを求め、
皆さんが受ける聖霊の促しに従って
行動するとき、
皆さんはキリストに
従っていることとなります。

参照)。毎日の祈り、福音の学習、従順、奉仕を通して神に近づくことにより、神から愛されるようになります。家族に対して親切かつ誠実で、全ての人に対してキリストのような友人になることにより、人から愛されるようになります。

イエスはいつも御父の御心を行われたことを思い出してください。奉仕の業を行うために一日中神の御心みこころを求め、皆さんが受ける聖霊の促しに従って行動するとき、皆さんはキリストに従っていることとなります。

神権の儀式を執り行う

神権の儀式は神の全ての子供たちに必要なもので、神の息子と娘の両方を等しく祝福するものです。皆さんは、執事になったときから、聖餐せいさんを配ることにより神権の儀式を執り行う助けをします。聖餐を準備し、祝福し、バプテスマを施し、他のアロン神権者の聖任に参加することにより、その後もアロン神権における神権の儀式を執り行い続けます。

神聖な儀式に携わるためには、清くなければなりません。道徳的に清くあることによって、神権の儀式を執り行うときに大なる霊的な力が加わります。主の聖餐という聖なる器を担うために、あらゆる点でふさわしくあるように努めてください(教義と聖約 38:42 参照)。そうするとき、ワードや支部の中でイエス・キリストの真の代表者として奉仕することができます。皆さんは聖餐の儀式を通して教会員が聖約を新たにすることを助けることができます。また教会員は、聖約を守る皆さんの決意によって祝福を受けることになるのです。

常に仕え、教え、導く

アロン神権者として、皆さんは人々に仕え、教え

導きます。どんなときも、自分の家族、友達、定員会会員やその他の人々に仕え、教え導く機会を探し求めてください。神権において皆さんが行う全てのことは、物質的にも霊的にも人々に仕え、教え導くことに役立ちます。例えば、ホームティーチャーとして担当家族に奉仕することによってビショップや支部会長を助けるとき、皆さんは人々の必要を見極めて世話をする方法を学んでいるのです。定員会会員を強めるために手を差し伸べたり、あまり活発でない人を救助したり、貧しい人や困っている人を助けるための断食献金を集めたり、病気の人や体の不自由な人のために力仕事をしたり、キリストとキリストの福音について教えることにより、あかし証したり、落胆している人の重荷を軽くしたりすることにより、人々に仕え、教え導くことができます。

定員会集会や家庭の夕べでレッスンを教えることによって仕え、教え導くことができます。家庭で、定員会や学校で、あるいは専任宣教師とともに、さらに皆さんがどこにいたとしても、キリストのもとに来るようにすべての人を招く(教義と聖約 50:29 参照) ことにより仕え、教え導くことができます。

皆さんの将来

メルキゼデク神権者、宣教師、夫、父親としての将来の役割において、皆さんに何が求められるかについて親やアドバイザーと話し合ってください。アロン神権者として奉仕するとき、これらの大切な責任ききょうに関し、今日どのように準備できるかについて用意された空欄に書き入れてください。今の時点では圧倒されそうに思うかもしれませんが、備えるための最良の方法は、天の御父が今日皆さんに望んでおられることをひたすら行うことです。皆さんが今できる奉仕を行い、輝かしい未来のために備えることによって、喜びを見いだすことができますように。■

全ての人を 祝福する力

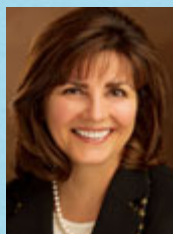
神権の儀式と聖約は、男女を問わず、すべての神の子供に平等に与えられる、と教会指導者は教えています。



「神権とは、老若男女を問わず、あらゆる人の救いと祝福のために賜った神の力であり権能です。バプテスマを受け、聖霊を受け、定期的

に聖餐を頂く人には、皆ふさわしければ、神からの特別な祝福が用意されています。神殿は、永遠の命の約束とともに、新たな光と強さをもたらしてくれます〔教義と聖約 138：37, 51 参照〕。」

十二使徒定員会 ニール・L・アンダーセン長老
「神権に宿る力」『リアホナ』2013年11月号, 92



「神権の儀式と聖約により、わたしたちは神により約束された満ちあふれる祝福を受けることができます。これは救い主の贖罪のおかげで

可能になったのです。これらの神権の儀式と聖約を通して神の息子娘は力、すなわち神の力を帯び、永遠の命が得られるようになります。神の御前に戻り、神とともに神の永遠の家族と一緒に住むようになるのです。」

中央扶助協会会長第一顧問
キャロル・M・スティーブンス
「教会員に何があるか御存じですか」
『リアホナ』2013年11月号, 12



「御父のすべての息子、娘たちが神権の力の祝福にあずかり、その力によって強められる方法を天の御父は備えてくださっていることを理

解するのはきわめて重要です。神の霊の子供たちのために作られた神の計画の中心は、神御自身が宣言された次の言葉にあります。『人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと、これがわたしの業であり、わたしの栄光である。』(モーセ 1：39)』

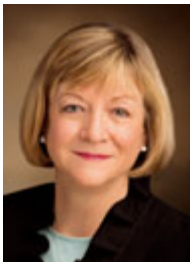
十二使徒定員会 M・ラッセル・バラード長老
「これがわたしの業であり、わたしの栄光である」
『リアホナ』2013年5月号, 19



イラスト：ゲイル・アームストロング

家庭に 神権の祝福

をもたらす



中央若い女性会長
ボニー・L・
オスカーソン

聖約を守るとき、
神権の力に頼り、
家庭と家族を
祝福することができます。

置かれている家庭環境がどうであっても、若い男性あるいは若い女性であるあなたは、どのようにしてバプテスマのときに交わした神権の聖約の力に頼り、家庭と家族を祝福することができるでしょうか。主の計画において家族が持つ役割と重要性を理解するなら、わたしたちは自分が交わした約束を尊ぶよう駆り立てられ、そのために自分の家庭の中でこそ最大限に、また心から熱心に奉仕することができます。そのような聖約の力に頼り、自分にとって最も大切な人々を強め、仕える方法について幾つか考えてみましょう。

自分だったらどう答えますか

月曜日の夜です。宿題が山ほどあります。家庭の夕べに集まるよう家族を呼ぶお父さんの声が聞こえます。どうしますか。

選択 A —— こう答えます。「ああ、お父さん。今日は時間がないんだ。勉強きょうしなくちゃいけないから。」

選択 B —— すぐにきょうだいたちを集め、祈り、音楽、メッセージなど、どの割り当ても喜んで引き受けます。

家庭に神権を持つ指導者がいる場合

家庭の夕べ、家族の祈り、家族の聖文学習に喜んで参加することによって両親を支えましょう。このような活動を通じて、家庭の中で神権による指導力を強めることができます。他にも様々な方法があります。その幾つかを紹介しましょう。

- 両親のために祈りましょう。（まず間違いなく、彼らは毎日、あなたのために祈っています。）
- 教会の召しを果たせるように両親を支え、特に、二人が特別な責任で忙しいときは、家事の手伝いを申し出ましょう。
- ホームティーチャーが来たときに歓迎できるよう両親を助け、彼らのメッセージにきちんと耳を傾けましょう。



「家族は
神の子供たちの
永遠の
行く末に対する
創造主の
計画の中心を
成すものです。」

「家族——世界への宣言」
「リアホナ」
2010年11月号, 129



「あなたが行く
最も大切な
主の業は、
あなた自身の
家庭という
囲いの中にある。」

「歴代大管長の教え——ハロルド・B・リー」
(2000年), 45

- 地域内に神殿があったら、両親が神殿に行き、神権の儀式を受けることができるよう、年下のきょうだいの世話を申し出ましょう。

家庭の中に御霊^{みたま}を招き、維持するのは両親だけの責任ではないことを覚えておきましょう。御霊を招くために、行動と態度を通してあなたにできることはたくさんあります。あなたは家庭に御霊の影響を招くために自分の役割を果たしているでしょうか。

家庭に神権を持つ指導者がいない場合

家族はすべて同じ形態で、同じように生活を送っているわけではありません。あなたの家族には片親しかいないかもしれませんし、家庭を管理する神権者がいないかもしれません。しかしそれでも、神権の力によって自分と家族を強めてもらう方法は幾つもあります。これから紹介することは、置かれている環境に関係なく、わたしたちが皆、行っているべきことです。

- 個人の祈りをし、聖文を研究し、断食をしましょう。このような活動をすることで、霊的に強くなり、あなたの生活やあなたの影響の及ぶ範囲に御霊を招き入れることができます。
- あなたの召し、すなわち教会の責任を尊んで大いなるものとし、日曜日のレッスンに備えましょう。そうすることで、自信を持ち、神権のプログラムに支持を表すことができます。
- 家族の全員に対して敬意を払い、彼らが

行うすべての活動を支援しましょう。こうした選択は家族全体を強めるのに役立ちます。

- 教会のクラスや定員会で学んだこと、行ったことを家族に伝えましょう。そうすることで福音の教えを家庭にもたすことができます。
- 小さな善意の行いを通して、周囲の人々に仕える方法を見つけましょう。
- 雑用をしたり、きょうだいを助けたりすることで、家事を手伝いましょう。
- 家族にキリストのような愛を示しましょう。恐らく他のどんなことよりも、家族のきずなを育むうえで、これほど大きな影響力のあるものはないはずです。

聖約を尊ぶ

家族に仕え、彼らを愛し、強めるときに、わたしたちはバプテスマのときに交わした聖約を守っていることとなります。それは、イエス・キリストの証人となり、その戒めを守り、周囲の人々を強めるという聖約です。わたしたちは家庭や家族にあって祝福となり、助けとなるために、神権の聖約の力に頼ることができます。神権、奉仕、そして家庭、これらはわたしたちの心に永遠につながれるべき言葉です。救いの業に参加する方法を探す際に第一に優先すべき人たちは、わたしたち自身の家族一人一人です。家族を強めるときに、わたしたちは教会、地域社会、さらには世界も強めることになるのです。■



ふさわしい という自信

きわめて特殊な自信を持つ方法に的を絞って、
お話ししたいと思います。



十二使徒定員会
ジェフリー・R・
ホランド長老

わたしが皆さんにお伝えしたいのは、
現在とこれから先の皆さんの人生の
ための、希望と励ましのメッセージ
です。現在、世界にはたくさん問題があり
ます。しかし、これまでもすべての時代、また
すべての地域に常に問題がありました。それ
らの問題に気を取られることなく、またその
ことで希望を失うことのないようにしてくだ
さい。将来はすばらしい機会と大なる祝福
に満ちています。科学技術や医学、コミュニ
ケーションなど、あらゆる分野で進歩が続き、
わたしたちの生活は豊かになることでしょう。
皆さんは世界がかつて知っていた中で最も輝
かしい時代に生きており、歴史上ほかのいかな
る時代にも増して世界中の多くの人にさら
に多くの祝福が与えられる時代を迎えています。
次のことを考えてみてください。皆さんの
おばあさんは皆さんの年齢のときにデジタル
タブレットのことなど夢にも思いませんで
した。おじいさんは今も携帯メールの方法を
知りません。ですから、安心し、元気で、楽観
的であってください。

ここでこのようなことをお話するのは、
最近読んだ記事で次のようなことが言われて
いたからです。今日、若い人々の間で最もよく
見られる病気は、糖尿病や心臓病ではなく、

がん
癌でもありません。（この種の問題を抱えて
いるのは通常、皆さんの世代ではなく、わたし
の世代の人々です。） 実に、10代と20代
の人々が最も患っている病気は、自己不信、将
来に対する不安、自尊心の低下、自分自身と
周囲の世界に対する全般的な自信の欠如で
あると、その記事で報じられていました。

わたしは皆さんよりも随分年上ですが、その
種の懸念を理解しています。なぜなら、わた
しも若い頃に、ひどく自信を持ってない状況に
直面したことがあったからです。良い成績
を取ろうとしたこと、機会があれば奨学金を
得たいと思ったこと、なぜ自分よりも他の人
の方が能力に恵まれているのかと思ったこと
を思い出します。また、運動競技に費やした
日々のも思い出します。高校や大学の運
動競技で良い成果を上げるために必要な自信
をもってプレーしようと努めました。そして、
ぜひとも大きな試合で勝つか、待望の優勝
を飾りたいと思ったものです。わたしは、特に
若い女性に対して自信がなかったことを覚えて
います。これは多くの若い男性にとっても
大きな悩みの元ではないでしょうか。わたし
にデートの機会を与えてくれたホランド姉妹に
とても感謝しています。実に、皆さんが思い当
たる事柄はすべて、わたしも思い当たります。



つまり、わたしは自分が人からどのように見られているのか、自分は受け入れられているのかどうか、あるいは自分の将来はどうかについて、不安を感じていたのです。

ここでのわたしの目的は、若い人が直面する、自己不信と自信の欠如をもたらすそれらの問題の全てを採り上げることではありません。そうではなく、きわめて特殊な自信を持つ方法に的を絞って、お話ししたいと思います。その自信は、正しい方法で得る場合、わたしたちの生活のほかのあらゆる面に、特に自尊心と将来に対する物の見方に、驚くべき影響を及ぼします。このことについて、一つの話をご紹介します。

個人のふさわしさの大切さ

今から何年も前のこと、中央幹部として召されるずっと前に、わたしはヤングアダルトの大会に話者として出席しました。その大会の最後に行われた証会^{あかし}で、一人のハンサムな若い帰還宣教師が立ち上がって証を述べました。帰還宣教師がそうであるように、彼は善良で、清く、自信にあふれているように見えました。

彼は話し始めると、目に涙を浮かべました。そして、このような若い末日聖徒のすばらしいグループの中において、これから自分が過ごそうとしている人生について良い気持ちを感じられることに感謝していると述べました。しかし、その気持ちは数年前にある経験をしたことから得られたものであると述べました。それはその後の彼の人生にずっと影響を及ぼした経験です。

彼が自宅の車庫近くでしばらく車の中において、思いにふけり、心底悲しい気持ちを感じていると、教会員でない母親が、半狂乱の状態の家から走って来ました。

それから彼は、18歳で長老に聖任された直後のデートから帰宅したときのことを語りました。彼が誇りにできないこのデートで、何かがあったのです。彼は詳しくは話しませんでした。また、公の場でそうするべきではありません。その日にどのような出来事があったのか、わたしは知りません。しかし、彼にとっては大きなことで、それは彼の霊と自尊心に影響を及ぼしたのです。

彼が自宅の車庫近くでしばらく車の中において、思いにふけり、起こった出来事について心底悲しい気持ちを感じていると、教会員でない母親が、半狂乱の状態の家からまっすぐに彼の車に向かって走って来ました。そしてすぐさま、この若者の弟が家の中で倒れて頭をひどく打ち、発作かけいれんのような症状を起こしていると告げたのです。教会員でない父親がすぐに救急車を呼びましたが、どう急いでも助けが来るまでに時間はかかります。

「来て、何とかして」と、母親は叫びました。「こんなときにあなたの教会では何かすることがあるんじゃないの。神権があるでしょう。来て、何とかしてよ。」

当時、彼の母親は教会のことを多くは知りませんでした。神権の祝福については知っていました。ところが、彼が心から愛していた人にとって自分の信仰と力が必要であったその夜に、この若者は、求めに応じられませんでした。自分の心の葛藤^{かつどう}と、それが何であれ、自分は妥協してしまった





という気持ちのために、彼は主の前に行って必要な祝福を求めることができなかつたのです。

彼は急いで車を降りると、通りを走って下り、2、3年前に自分が改宗して以来ワードで親しくしてきた、ふさわしい年配の兄弟の家へ駆け込みました。そして状況を説明すると、二人は救急隊員が到着する前に家に引き返しました。その証会で彼が語ったところによれば、この出来事は幸いにも良い結果で終わりました。この年配の男性はすぐにすばらしく力強い神権の祝福を授けてくれ、けがをした子供は状態が安定して落ち着きました。その後、救急隊が到着しました。こうして彼の弟は病院に速やかに搬送され、そこで入念な検査が行われて、後遺症は残らないことが判明しました。こうして、この家族にとってのひどく不安な時は過ぎ去ったのです。

その後、わたしが語っているその帰還宣教師は次のように述べました。「その夜にわたしが直面したような状況に直面したことのない人には、自分が持っている神権を使うのにふさわしくないという気持ちと、そのことでわたしが感じた恥ずかしさと悲しみは決して分からないでしょう。それはわたしにとって、心の痛みさえも伴う思い出です。なぜなら、わたしを必要としたのが弟であり、こんなに心配し、わたしに多くのことを期待する権利を有していたのが、教会員でない愛する両親だったからです。しかし今日、わたしは皆さんの前に立って、約束できます」と、彼は言いました。「わたしは完全ではありません。しかし、その夜以降、必要なときに自信をもって主の前に行って主の助けを求められないようなことを、わたしは決して行っていません。個人のふさわしさ

「しかし、その夜以降、
必要なときに自信をもって主の前に行って
主の助けを求められないようなことを、
わたしは決して行っていません」と、
彼は言いました。

を保つことは、わたしたちが住んでいるこの世界における戦いです。しかし、わたしはその戦いに勝利を取っています。わたしはかつての生活で、罪悪感にさいなまれました。もし自分が神権を使って何でも行えるなら、二度とそのような思いをするつもりはありません。もちろん、今のわたしは神権を使ってすべてのことを行えます」と、彼は言葉を結びました。

彼は証を述べ終わって、席に着きました。今でも彼の姿が目に浮かびます。わたしはその場の状況を今でも心に思い浮かべることができます。また、彼の言葉に続くあの実に感動的な静寂を今でも思い出すことができます。そのときに、室内にいるすべての人は、自分の心をもう少し深く探り、主から与えられた次の力強い言葉に従って生活する決意をもう少し固くする機会を得たのでした。

「絶えず徳でああなたの思いを飾るようにしなさい。そうするときに、神の前においてあなたの自信は増し、神権の教義は天からの露のようにあなたの心に滴るであろう。

聖霊は常にあなたの伴侶となり、あなたの^{はんりよ}^{しやく}は義と真理の不変の^{しやく}となるであろう。」(教義と聖約121:45-46, 強調付加)

神の御霊を享受する

愛する若い友人の皆さん、すばらしい人生を過ごしてください。最善の思いと最善の希望を抱き、将来を信じる信仰を持ってください。皆さんの前には偉大な生涯があります。天の御父は皆さんを愛しておられます。何か過ちを犯したとしても、この若者がそうであったように、その過ちを悔い改め、^{ゆる}赦しを得ることができます。皆さんには生きる目的、計画する事柄、また信じる対象物などすべてのものがあります。独りであるときに様々なことを思い出してみて、自分の良心に責められるところが何もないならば、皆さんは非常に個人的な方法で神の御霊を感じることができます。皆さんにその御霊を享受し、主の前で常にその自信を感じてほしいと、わたしは願っています。徳高い思いを抱いて、今日も明日も、また永遠に、行いを清く保つことができますように。■

2006年12月31日に行われた青少年対象のファイヤサイドから。

門と道

神権の儀式と聖約は、
わたしたちに永遠の命へと通じる道をしっかりと歩ませ、
今この現在に、わたしたちが必要としている力を授けてくれます。

わ たしたちは皆、永遠の命を求めています。永遠の命とは、天の御父のもとで家族として生活することができる日の栄えの王国の最高の階級で救いと昇栄が与えられることを意味します。

イエス・キリストを信じる信仰と悔い改めに加えて、神権の儀式と聖約は、わたしたちを永遠の命へと至る道に入らせてくれます。この道にいつ入ったか、あるいはこの道のどこにいるか、また教会員として生まれたか、後で改宗したか、これまでずっと活発であったか、教会の活動に戻って来たばかりか、それは関係ありません。自分が交わす聖約と、その聖約を受けて守るためになすべき事柄に心を向けるとき、この道に沿って進むことができますのです。

また、神権の儀式と聖約が単に輝かしい未来の約束を提供するにとどまらないことを知るのは大切なことです。この儀式と聖約は、道に従い、義にかなって最後まで耐え忍ぶために、わたしたちが今必要としている力、慰め、そして支えをも与えてくれるのです。■



「家族を結び合わせる
神聖な儀式や聖約を
施し、わたしたち一人一人
に日の栄えの王国におら
れる父なる神とイエス・
キリストのみもとに戻る
資格を得させてくれるの

は、教会にある神権の権能です。彼らが主と聖約を交わすことによって、これらの儀式が平安をもたらしてくれるのです。」

十二使徒定員会 クエンティン・L・クック長老
「個人の平安——義の報い」
『リアホナ』2013年5月号、34参照

永遠の命に
至る道
(最後まで堪え忍ぶ)

2ニーファイ31章参照



バプテスマ



せいさん
聖餐——毎週行う
バプテスマの聖約の更新

たまもの
聖霊の賜物

不可欠な儀式と聖約
儀式を更新し、強化する

祝福師の祝福 —
特別で個人的な導きと、
約束される祝福



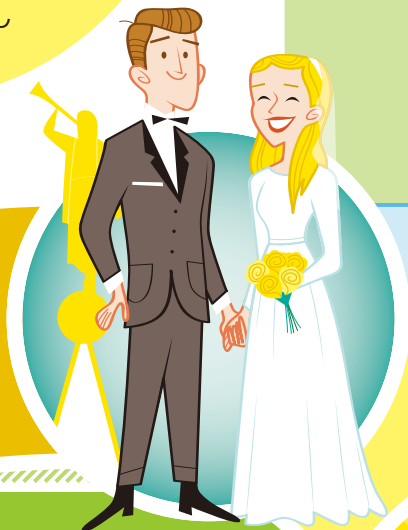
神権の授与および聖任
(若い男性)

神殿のエンダウメント



病人への祝福 —
助けと癒し

父親の祝福および
慰めと勧告を与える
その他の祝福 —
必要なときの平安と導きのため



神殿の結び固め



途中で与えられる様々な助け

聖文 — 神とその民との間で交わされた聖約の一部として与えられる導きと指示 (教義と聖約 84 : 57 参照)

祈り — 「〔主〕は、『いつも〔御子〕を覚え〔る〕』という聖約を授け、『常に…… 祈〔る〕』ように警告されました。わたしたちにとって唯一守ってくださる御方である主に頼るためです。」(大管長会第一顧問、ヘンリー・B・アイリング管長、『いつも救い主を覚える』『リアホナ』2005年12月号, 9)

奉仕 — 神とその子供たちに仕えることによって聖約を成就すること。召し、神殿と家族歴史の業、福音を分かち合う業、専任宣教師としての奉仕を含む

悔い改め — 道から迷い出たときに、聖約を思い起こし、救い主に近づくこと。神権指導者からの助けが必要となることもある



聖約と戒め、儀式という福音の道にとどまるならば、わたしたちは**守られ**、この世で神の業を行う**備え**ができます。」

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老
「聖なる場所に堅く立ちなさい」
『リアホナ』2013年5月号, 49



皆さんがふさわしい状態で神権の儀式に参加するとき、主は皆さんの**力、平安、永遠の見方**をさらに強めてくださいます。」

十二使徒定員会 ニール・L・アンダーセン長老
「神権に宿る力」『リアホナ』2013年11月号, 95

永遠の命
(家族とともに住む日の栄えの王国)

イラストレーション: ベーティ

「墮胎などの、福音の教えに反する話題が学校で出たらどうしたらよいでしょうか。」

状況によって、意見を言うにも様々な方法があり、また何も言わないという選択肢もあります。まず、何かを言ったら、あるいは何も言わなかったらどうなるかを考えてみましょう。あなたが間違いだと知っていることに對し、無言でいたら賛成だと受けとめられかねない場合には、自分の意見は違うということを伝える簡単な方法を考えてみるとよいかもしれません。意見を言えば争いを引き起こすだけだと思う場合は、別な機会に自分の意見を伝えることもできます。しかし、同級生がお互いの意見を尊重し、教師が話し合いに参加するよう呼びかけてくれているのなら、靈感を求めて祈り、そのうえで自分の信条について説明することもできます。

授業で特定のテーマについて話し合うことが分かっていたら、前もって準備しておくこともできます。そのテーマに関する聖文や総大会の説教を読むことに加え、『真理を守る』、『福音の原則』あるいは『若人の強さのために』にも目を通しましょう。また、家庭の夕べで、テーマについて説明する練習をすることもできます。準備ができれば、教師または同級生たちに向けて話しましょう。

言う内容と同様に大事なのが、伝え方です。敬意をもって話し、教会用語を使わないようにします。「わたしのワードの若い女性アドバイザーが教えてくれたのですが……」と言った途端、同級生はわけが分からなくなってしまいます。

何よりも大事なものは、あなた自身が教会の教えに精通し、聖霊が教えてくださることを感じられることです。そうすれば、学校で聞いたり読んだりする誤りに惑わされることはありません。

自分がどなたを代表しているかを忘れない

このような状況に対応するとき、その問題に関するあなたの気持ちはほかの人々と違う可能性があることを覚えておきましょう。高圧的になったり、押しの強い態度になったりしないように注意しながら、恐れずに自分の信条を擁護してください。自分がキリストを代表していることを忘れないでください。

マデライン・K, 16歳
(アメリカ合衆国, ワイオミング州)

礼儀を守る



わたしは、自分の意見を礼儀正しく述べ、そのうえで、なぜそう信じるのかを説明したいと思います。自分の意見に同調するようにほかの人々に押し付ける必要はありませんが、ある事柄についてわたしの立場や考え方を知ってほしいですし、理解してほしいと思います。

サブリーナ・S, 16歳
(アメリカ合衆国, オレゴン州)

敬意を払う



自分の意見を伝えることは大事ですが、人の信条に敬意を払うこともとても大切です。言い争いをしないでください。言い争いは敵を作り、混乱を生じさせます。わたしたちの宗教に反する考えが持ち出されたら、落ち着いて、相手の話をよく聴き、敬意を示し、御霊に耳を傾けることを忘れないでください。わたしたちには分からないことを神は御存じです。主の御霊に耳を傾け、そこから学ぶべきです。

ハンナ・M, 18歳 (アメリカ合衆国, ユタ州)

教会の教えを分かち合う

わたしなら、能力の限りを尽くして質問に答えるよう努力します。なぜなら、わたしが教えないかぎり、友達も先生たちも、そのような話題に関する教会の立場を知らないからです。質問に答えることで、彼らは後々のために知識を蓄えることができますし、あなた自身も霊的に益を受けます。次の聖句を思い出してください。「そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」(マタイ 5:16)

ジョシュア・M, 16歳
(イングランド, マンチェスター)

正しいことについて考えられるよう人々を助ける



自分の気持ちを正直に話してください。墮胎など、学校で話題になる多くの事柄は、いろいろな観点から広く討論されますから、臆せずに自分の意見を言いましょう。福音を分かち合い、わたしたちが信じる標準を知ってもらい良い機会となるでしょう。自分が信じる標準を分かち合えば、正しいことについて考えられるよう人々を助けることができます。

マディソン・R, 14歳
(アメリカ合衆国, ノースカロライナ州)

偽りの教義を正す

わたしたちの教会は伝道を大切にしている教会ですし、わたしたちは皆、教えを説くように召されています。ですから、偽りの教義が広まるのを見過ごすことはできません。そのような状況にあるとき、わたしたちは声を上げて偽りの教義を正し、回復された福音がそのテーマについてどのように教えているかを人々に理解してもらえよう

にしなければなりません。

デビッド・M, 16歳
(コンゴ民主共和国, カサイオクシデンタル州)

教会の姿勢を知る



以前、論議を呼ぶテーマについて頻繁に話し合いが持たれるコースを受講していたことがあります。まず大事なことは、他の人の信条に敬意を払うことです。あなたは同級生にも同じことを期待していることでしょう。もしテーマが教会の教えと完全に対立するものであれば、臆することなく自分の意見を述べることです。その中で教会の名前を持ち出す必要はありません。けれども、そのような事柄に関する教会の姿勢をよく知っておくことが大切です。

ジョセフ・Z, 18歳
(アメリカ合衆国, メリーランド州)

争いを避ける

わたしなら、自分の意見を説明し、他の人々の考えに敬意を払いつつ、自分の信じる原則と教会の教義を擁護します。争いを避けるようにします。争いは、人々に良い影響を与えてくださる聖霊を遠ざけてしまいます。

ダイアナ・V, 15歳
(アルゼンチン, プエノスアイレス)

次回の質問

「どうしたら安心して
ビショップに
問題や心配事を
話せるようになるでしょうか。」



確固として立つ

「わたしたちには、論理的に、しかも親しみのある態度で、正しい事実に基づいた説得を行って立場を明らかにする責任があります。わたしたちは、現代の道德の問題や永遠の福音の原則に関して揺るぎない立場を堅持しなければなりません。しかしながら、いかなる人や団体とも論争してはならないのです。論争は壁を作り、障害を生むだけです。それに比べ、愛には門戸を開く力があります。」

十二使徒定員会
マービン・J・アシュトン長老
(1915年 - 1994年)
「論争している暇はない」
『聖徒の道』1978年10月号, 8参照

あなたの意見をお聞かせください。2014年5月15日必着で liahona.lds.org に投稿するか、liahona@ldschurch.org まで電子メールでお送りください。郵送することもできます(郵送先については、3ページをご覧ください)。希望する場合は、高画質の写真も添付してください。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現のために編集されることがあります。

電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず明記/同封してください。(1) 氏名、(2) 生年月日、(3) ワードまたは支部、(4) ステークまたは地方部、(5) 意見と写真の掲載を許可する、あなたの同意文(18歳未満の場合は保護者の同意文も必要です[電子メール可])。



時として、真実と誤りを見分けるのが難しいことがあります；
天の御父はわたしたちに力強い賜物^{たまもの}をお授けになり、
神の真理とサタンのうそを識別できるようにしてくださいました。

教会機関誌
デビッド・A・エドワーズ

正 誤問題のあるテストを受けたことがある人ならだれでも、誤りを見抜くことの難しさを知っているはず。同じように、信仰や信条や日常生活に関する重大な問題についても、何が正しくて何が誤りなのか、その違いを見極める力が非常に大事です。ところが、それが必ずしも簡単ではないのです。

しかしわたしたちは、備えもなくテストを受ける人のように恐れる必要などありません。天の御父は、わたしたちが御自身の真理とサタンのうそを見極められるように、わたしたちに多くの賜物を与えてくださったからです。

真実か 誤りか？

偽りの種類

まず、要点を説明するために簡単な正誤問題をしてみましょう。



1

月は緑色をしている。

正 誤

アポロ12号の宇宙飛行士で人類初の月面歩行を行ったニール・アームストロングは、それを「人類にとっては偉大な飛躍」と言った。

正 誤

2



3

米航空宇宙局 (NASA) は、1969 年に予定されていた火星行きが不可能になったために、月に行かざるを得なくなった。

正 誤



太陽風、放射能、宇宙線、その他の障害のため、人間の月面着陸は不可能だった。また、着陸時の写真にも修正が加えられた形跡があり、何人かの目撃者の証言にも細かな点で食い違いがある。月面着陸そのものがアメリカ政府によるでっち上げに違いない。

正 誤

4

現代のうそ

皆さんの考えや信条や選択や行動に影響を与える、すなわち皆さんの永遠の行く末を左右しかねない事柄に関しては、様々な種類の偽りに注意する必要があります。なぜなら、「偽りの父」(2 ニーファイ 9:9) であるサタンは、あらゆる手段を使ってわたしたちを欺こうとするからです。ここでは、サタンが現在どのようにわたしたちを欺こうとしているか、またどうしたら真理を使ってそれに対抗できるのかを、例を挙げて説明しましょう。

上記の質問の答えはいずれも「誤」です。これらはそれぞれ、皆さんがよく遭遇する偽りの代表的なものです。

質問 1 は単純な偽りであり、明らかな誤りです。質問 2 は、部分的真理です。こういうものには用心が必要です。一つ、あるいは複数の真理に一つの偽りが混じっているからです (アポロ 12 号ではなく、アポロ 11 号でした。引っかけましたね!)。質問 3 には誤った二分法が含まれています。つまり、実際にはそれ以上の選択肢が存在するのに、二つの選択肢しか提示されない場合です (例えば、NASA にはどこへも行かないという選択肢もあったはずです)。質問 4 は「論理的」議論です。これは、ある誤った結論に導く目的で、正当に聞けるけれども誤りである場合が多い証拠を積み重ねていくことを指します。

単純な偽り

誤った考え —

ポルノグラフィは普通のことで、だれの害にもならない。

その結果 (大きなうそ) —

遠慮せずにポルノグラフィを見ればよい。

真理

ポルノグラフィは、性に対するわたしたちの考えをゆがめ、依存症に陥らせたり、霊的に大きな打撃を与えたり、人間関係を損なったりする。

部分的真理

誤った考え —

人はそれぞれユニークな存在であり、生き方を自由に選ぶことができる。だから、自分についてどう感じ、どのように自己表現するかは人生で最も重要なことである。

その結果 (大きなうそ) —

神や教会に自分の生き方を左右されるべきではない。だから、よい気持ちを感じるなら、したいことをすればいい。

真理

わたしたちは皆、天の御父の子供であり、一人一人が唯一無二の存在である。御父はわたしたちが最高の自分になり、御父のようになることを望んでおられる。戒めに従順になるとき、究極の喜びを手に入れることができる。

真理を知る方法

それでは、真理をさらに完全に知るにはどうしたらよいのでしょうか。どうしたら偽りを見抜くことができるのでしょうか。次に、真理と誤りを識別するために天の御父がわたしたちに授けられた力ある賜物^{たまもの}を幾つか挙げましょう。

- **キリストの光**。「キリストの光は……地上のあらゆる所にいるすべての分別ある人に、真理と偽り、正しいことと誤ったことを識別するよう促します。また、皆さんの良心を活発に働かせます。」¹
- **聖霊**。「真理の御霊〔は〕……あなたがたをあらゆる真理に導いてくれるであろう。」(ヨハネ 16:13)
- **聖文**。「神は聖文を使って、誤った考え方、偽りの言い伝え、壊滅的な影響をもたらす罪を正されます。」² この点で、モルモン書は特に重要です。なぜなら、それは「キリストの敵を明らかに〔し〕……偽りの教義を打ち破り、争論を鎮めるもの(2ニーファイ 3:12 参照)」だからです。³
- **現代の預言者**。「〔預言者の〕責任は、人類に神の御心^{みこころ}と真の属性を知らせること……である。預言者は罪を非難し、罪のもたらず結果を予告する。」⁴
- **教育**。「聖徒は……研究と信仰によって学問を求めます。教育は……特に聖文を研究することによって、真理と誤りを見分ける力を与えてくれます(教義と聖約 88:118 参照)。」⁵

「選択肢は二つだけという考え方」

誤った二分法

誤った考え——

教会はある種のライフスタイルに反対する教えを説いている。だから、教会は不寛容であり、人々を憎んでいる。寛容と愛を示していない。

その結果(大きなうそ)——

教会は不寛容で憎しみに満ちているので、批判を浴びたり、馬鹿にされたり、非難されたりしても自業自得だ。だから、教会との関係を断つべきだ。

真理

他の人々のライフスタイルを受け入れないことは、憎しみと不寛容な態度を持つことと同じではない。わたしたちは、神と神の戒めに忠実であり続けると同時に、あらゆる人々に思いやりと敬意と優しさを示すことができる。その対象には神の律法に反するライフスタイルを持つ人々も含まれる。

「論理的」議論

誤った考え——

モルモン書の中には現在の科学的証拠によって正しくないと証明されている事柄が含まれている。また、それがどのように翻訳されたかということについても証言が食い違っているから、それは全部ジョセフ・スミスの作り話か、彼がどこからか書き写してきたものに違いない。

その結果(大きなうそ)——

モルモン書は真実ではなく、ジョセフ・スミスは預言者ではない。だから、教会とは関係を断ったほうがよい。

真理

モルモン書の中にある多くの事柄は科学的に証明されている。いわゆるモルモン書に不利な「証拠」とされるものには、誤りや見落としている点がある。しかし、最も重要な証拠は、それが真実^{まこと}であり、ジョセフ・スミスは真の預言者であったとあなたに告げる御霊による証である。

世の中の様々な異なった考えに直面するときに、**真実か誤りか**を見分けるのは、必ずしも容易ではないかもしれませんが。しかし、天の御父から授かった賜物は、あなたが現世のテストに合格するうえで助けとなるでしょう。■

注

1. リチャード・G・スコット「良心の安らぎと心の安らぎ」『リアホナ』2004年11月号、15
2. D・トッド・クリストファーソン「聖文の祝福」『リアホナ』2010年5月号、33
3. エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経は神のみ言葉である」『聖徒の道』1988年5月号、3
4. 聖句ガイド「預言者」の項、scriptures.lds.org
5. ラッセル・M・ネルソン「わが教会は、……末日聖徒イエス・キリスト教会と称えらるべし」『聖徒の道』1990年7月号、17 参照

話し合いに参加する

日曜日に備えて、深く考える事柄

- 天の御父は、あなたが真理を見分けるようにどのように助けてくださったでしょうか。
- どうしたら誤りと闘うことができるでしょうか。
- 他の人々が真理を見いだすように励ますには、どうしたらよいでしょうか。

実践してみること

- 教会で、回復された福音が真実であると信じるようになったいきさつを分かち合う。
- ソーシャルメディアを使って真理を分かち合い、どのようにそれを知ったか知らせる。



七十人
エンリケ・R・ファラベラ長老

「それなら簡単よ、おじいちゃん！」

「あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思って調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。」
(ヨハネ 5:39)

わたしはモルモン書と救い主イエス・キリストを愛しています。ある日わたしは、孫むすめのラクエルに、モルモン書を読むことを目標にしてはどうかと言いました。ラクエルは最近、字が読めるようになったところでした。

ラクエルは「でもおじいちゃん、むずかしいわ。あつい本だから」と言いました。

そこでわたしは、1ページ読んで聞かせてくれるようにたのみました。ストップウォッチを手にとって時間を計ってみると、1ページ読むのにたった3分しか、かかりませんでした。

わたしたちが読んでいたのはスペイン語のモルモン書でした。スペイン語のモルモン書は642ページなので、全部を読むと1,926分かかることを話しました。

それを聞いてラクエルはもっと弱気になったので、その数を60でわると、モルモン書全部を読むのに必要なのは32時間だけだと言いました。1日半もかかりません。

するとかのじよは、「それなら簡単よ、おじいちゃん！」と言いました。

ラクエルとその兄エステバン、そしてほかの孫たちは、1日半よりも少し長い時間をかけてモルモン書を読みました。それは読むとき、いのったり、読んだことについて考えたりする時間を取る必要があるからです。

ラクエルやエステバンのように、わたしたちはだれでも聖文を愛するようになれます。そのとき、わたしたちはこうさげぶことができるのです。「あなたのみ言葉はいかにわがあごにまさってわが口にあまいのです。」(詩篇 119:103)■

2013年4月の総大会でのお話から。





ちゅうおう み じょきょうかい かいしやうかい
中央扶助協会会長
だいら ぐんごう
第一顧問

キャロル・M・
スティーブズ

ポーターの



わたしの義理の父がなくなったとき、おくやみに来てくれた人たちにあいさつをするために、家族が集まりました。そのばんは家族や友人たちと話し合っ過ぎて過ごしましたが、その間しばしば、10才のまご息子のポーターがわたしの義理の母、つまりポーターのひいおばあちゃんのそばにいるのに気づきました。後ろに立って、見守っていることもありました。うでを組んだり、手にやさしくふれたり、ちょっとだきしめたり、となりに立っていたりすることもありました。

その経験から数日間、そのときの光景が頭からはなれませんでした。ポーターにメールを送ったほうがよいという気持ちになりました。わたしが見たことや感じたことを伝えました。彼がバプテスマを受けたときに交わした聖約を思い起こさせ、モーサヤ書第18章に書かれたアルマの言葉を引用しました。

「あなたがたは神の羊のむれに入っ
て、神のたまよばれたいと願っ
ており、重荷が軽くなるように、たがいに
重荷を負い合うことを望み、

また、悲しむ者とともに悲しみ、なぐさめのいる者をなぐさめることを望み、……永遠の命を得られるように、いつでも、どのようなことについても、どのようなところにおいても、死にいたるまでも神の証人になることを望んでいる。

……あなたがたが心からこれを望んでいるのであれば、主からますますゆたかにみたまを注いでいただけるように、主に仕えて主のいましめを守るという聖約を主とかわしたしょうことして、主のみ名によってバプテスマ

約束

聖約は、あなたと天のお父様との間で
かわす約束です。

「受けるのに何の差しかえがある
うか。」(8-10節)

わたしはアルマの教えをポーターに
説明しました。バプテスマを受けた
いと思う人は、ほかの人に仕えるこ
とによって、生涯ずっと、喜んで主に
仕える必要があるのです。わたしは
こう言いました。「自分では気づか
なかつたかもしれないけど、あなたが
ひいおばあちゃんに愛と関心をしめ
したことは、聖約を守るということな
のよ。人に親切にする、愛をしめす、
たがいに思いやるなどの行いを通し
て、わたしたちは毎日聖約を守って
いるのよ。聖約を守っているあなた

をほこりに思っていることを伝えた
つたの。バプテスマを受けたときに
かわした聖約を守るとき、神権を受け
るそなえができるわ。バプテスマの
つぎ次にかわすこの聖約により、ほかの
ひとびとを祝福して奉仕する機会がふえ
て、神殿でかわす聖約にそなえる助け
となるのよ。こんなに良いものはんを
わたしにしめしてくれてありがとう。
聖約を守る人がどんな人かを教えて
くれてありがとう。」

ポーターから返事が来ました。「お
ばあちゃん、メッセージをありがとう。
いつもひいおばあちゃんをだきしめる
とき、それが聖約を守ることになって

いるなんて知らなかつた。でも心の
なかの中が温かくなって、いい気持ち
がしたよ。心の中に聖霊がいてくださ
ったんだね。」

わたしも心の中が温かくなりました。
ポーターが、聖約を守るならば「いつも
[天のおん父の] みを授けられる」
と知っていることが分かつたからです
(教義と聖約 20:77)。それは聖霊
の賜物を受けることによって可能と
なる約束です。■

「わたしたちが喜ぶべきもつともな理由があります」
『リアホナ』2013年11月号、115-117から。



聖約を守る人になりましょう!

バプテスマを受けるとき、
わたしは次のことを約束します。

- 愛と親切をしめす。
- 悲しむ者をなぐさめる。
- 天のお父様のいましめを守る。
- 天のお父様について人々に話す。

そうするときに、
天のお父様はわたしに
いつも聖霊を受けると約束してくださっています!

名前



今月の初等協会のテーマについて
もっと学びましょう!

かぞくは 天のお父さまの 計画の中心です



ジャン・テラー

ミーシャは、ブロックで高いとうをつくるのが大すきでした。でも、ブロックがくずれてしまい、いらいらすることがありました。そして、あるひけつを学びました。とうの下のぶぶんブロックをたくさんつかうと、土台がしっかりするのです。にんたいとれんしゅうがひつようでしたが、しばらくするとかんたんにはくずれないとうを作れるようになりました。

ミーシャが、もっとしっかりしたとうをたてられるようになったように、わたしたちも、もっとしっかりしたかぞくをきずけるようになります。かぞくは、天のお父さまがわたしたちのためによいしてくださった計画の中で、とてもたいせつないちぶです。わたしたちは生まれる前、天のお父さまのれいのむすこ、

むすめとしてくらししていました。わたしたちがちきゅうに来るとき、天のお父さまは、わたしたちをかぞくのもとにおくってくださいました。天のお父さまはかぞくに、わたしたちをまもり、教え、お父さまのもとに帰れるようにたすけてほしいとのぞんでおられます。

わたしたちは、かぞくがもっとしっかりした土台をきずけるように、どりよくできます。おたがいにほうしし、たすけ合うれんしゅうができます。おたがいに、よく話を聞き、やさしいことばで話すことができます。いっしょにいのり、せいぶんをまなぶことができます。いっしょにはたらいたり、楽しいことをしたりできます。にんたいし、れんしゅうしながら、もっとしっかりしたかぞくをきずくことができます。■

歌と せいく

- ・「家族は永遠に」(『子供の歌集』98)
- ・ルカ6:47-49

かぞくで話し合うための アイデア

かぞくで、ルカ6:47-49を読むとよいでしょう。その後で、このせいくはかぞくについてどんなことをおしえてるかについて話し合うことができます。あなたのかぞくはむすかしいことがあるとき、どのようにたすけ合ってのりこえてきましたか。もっとしっかりした土台をきずくために、みなさんにはどんなことができるでしょうか。



かぞくの いのり

いっしょに ゆうはんを 食べる

かていの タベ

いっしょに あそぶ

かぞくの
せいぶん けんきゅう

びょうきの 人の
おみまいに 行く

せんきょうしに
てがみ 手紙を かく 書く

せんぞについての
はなし お話を 聞く

かぞくを 強める

ポスターを 作って かぞくを 強めましょう!

- 大人の 人に 手つだって もらい、ブロックを 切ります。かぞくで 今 もう できている ことを あらわす 絵を、紙に はります。ブロックは、あなたのかぞくの 土台を あらわします。
- これから かぞくで はじめたいこと、または もっと がんばりたいことを あらわす ブロックを えらびます。この もくひょうを たっせいしたら、ブロックの とうにつけたします。みんなが 見えるところにポスターを はり、ブロックを ふやして いて、かぞくを 強めましょう。

あたら 新い ブロックに、自分で かんがえた もくひょうを 書きましよう。

すばらしい^{かんが}考え

バプテスマは でし弟子として歩む道の しゅっぱつてん 出発点です。

だいぐわんかいにんごん
大管長会第二顧問
ディーター・F・ワークトルフ^{かたはら}管長
がつかうたいかい
2013年10月総大会から





七十人
 テレンス・M・
 ビンソン長老

あなたにとって、行うのがとてもむずかしいことは何ですか。

 そのむずかしいことができるように、どのように天のお父様に助けを求めることができますか。

 ほかに、だれに助けを求めることができるでしょうか。



い わ
岩を動かす
 う ご

ある少年がおもちゃの自動車で遊ぶために、家のうらの砂地を平らにしようとしていました。大きな岩がじゃまだったので、力いっぱい押したりひいたりしましたが、どうにもこうにも動きません。

その様子をしばらくながめていた父親が来て言いました。「こんな大きな岩を動かすには、すべての力を

つかひつようがあるよ。」少年は「ぼく、自分の力を全部使ったよ」と答えました。

すると父親は「いいや、まだわたしの助けを借りていないよ」とさどしました。

二人はともにかがんで、簡単に岩を動かしました。

わたしたちが問題を解決しようと

するとき、主はわたしたちにご自分にとよってほしいと思っておられます。そうするときに、もっとたえまなく、もっと力強く、もっとはっきりと、もっと個人的に主の愛を感じる事ができます。わたしたちは主と一つになり、主のようになる事ができるのです。■

「神に近づく」『リアホナ』2013年11月号、105から。

イラスト/ガイ・ワシントン



わたしは フィリピンの ドリアです

マズヘイ、カイビガン！*

エイミー・ジェーン・レビットとの インタビューから

みなさんは、しまに すみたくいとおもったことは ありますか？
こちらは、アレハンドリアです。かぞくとともだちからは、みじかく ドリアと よばれています。ドリアは、フィリピンのセブとうに、お父さん、お母さん、お姉さん、妹といっしょに すんでいます。ドリアには、お兄さんも いますが、お兄さんは ドリアが 生まれる前に、なくなりました。「お兄ちゃんは、かぞくの いちいんです。そして、かぞくは えいえんなので、いつか お兄ちゃんに 会えると 知っています」とドリアは 言います。■

*タガログ語で「こんにちは、友だちの みなさん!」という いみです。

わたしの すきなことは、ダンスです。わたしは、バレエを おどります。来年、ポワントという次のレベルに 進みたいと思っています。ポワントになると、つまさきで 立つための とくべつな バレエシューズをはけるのです。



フィリピンには、7,000 いじょうの しまが あって、美しい ばしょが たくさんあります。わたしたちの家は、かいかんの そばに あります。わたしは、海であそぶのが 大好きです。わたしが すきなことの 一つは、およくことです。わたしは、自分で れんしゅうして およげようになりました。



わたしは、かぞくと いっしょに
いろいろな かいがんに 行くのが
大好きです。前に、パラワンという、
せかいで いちばん 大きな 地（ち）で
い（い）かせん（地下を ながれる 川）が
ある しまに 行きました。わたし
は シュノーケルをつけて ダイブ
ングをして、 いろいろの 魚
を 見ました。



しんでんを 見るのが
大好きです

ある日 学校で、クラスの 何人
かが、モルモンは かみさまを
しんじていないと 言いました。
わたしは、わたしたち モルモン
は かみさまを しんじていると
言いました。次の 日、おもて
に イエスさまの 絵が あり、
うらに しんこうがじょうが
書かれている バス・アロング・
カードを 持って行きました。
クラスの 友だちは、イエスさま
の 絵を 見て、わたしたちの
しんじていることを いくつか
読んで、わたしたちが かみさま
を しんじていると 分かって
うれしいと 言いました。



わたしたちは、めぐまれて フィリピン・セブ
シティしんでのん 近くに すんでいます。
ほうけんされる 前に、かぞくと いっしょに
しんでのん 中を 回って 見る ことが でき
ました。しんでは とても 美しく おだや
かな ところでした。しんでのん おかげで、
かぞくが えいえんに いっしょに いられる
ので、かんしゃします。

じゅんぴ オーケー！

ドリアの バッグには、ドリアの 大ききな
ものが入っています。あなたの バッグに 入れ
たいものは、どれですか。



小さい みんなのために

イエスさまについて かんが 考える

メーベル・ジョーンズ・ガボット



しずかに すわって、イエスさまのこと、
イエスさまが おかの うえ 上で じゅうじかに かかられたことを
かんが 考えるのは むずかしく ありません。

つち
土ほこりの
みち
道を
なが
長い
あいだ
間
ある
歩いてくださったこと



こどもたちが
あいし しんじられるように
たすけてくださったことを
かんが
考えます。



あし
足を ぶらぶらしないで、しせいよく すわって
はなし
お話を 聞くのは むづかしく ありません。
たとえ わたしが ちい
小さくても、イエスさまのことを かんが
考えるのは
ぜんぜん むづかしく ありません。■



イエス・キリストについて ^{かんが}考える とくべつな ^{じかん}時間

せいさんかいはい しずかに すわって、すくいぬしについて ^{かんが}考える とくべつな ^{じかん}時間です。



イエスは ^{がわ}ヨルダン川で
バプテスマを おうけに なりました。



イエスは ^{ひとびと}人人を いやされました。



イエスは ^{こどもたち}子どもたちを あいされました。



イエスは わたしたちの ^{ため}ために
くるしみ ^{なく}なくなりました。



イエスは ^{あさ}ふつつさいの朝に
よみがえられました。



イエスの ^{おかげ}おかげで わたしたちも
もういちど ^{生きる}生きるのです！

ここに
あなたの
にお絵を
かくか、
しゃしんを
はりましょう。

「イエスはバプテスマを施すヨハネ」ハリー・アンダーソン画。「目の男性を癒されるキリスト」デル・パーソン画。「ガリラヤで子供たちと語られるイエス」デル・パーソン画。「コルコタの巨スモット・M・スノー画。「王はよみがえられた」デル・パーソン画

将来に 希望を見いだす

スタン・バグズレー

2001年9月12日、妻とわたしはアメリカ合衆国アリゾナ州のツーソンにある病院の廊下をゆっくりと歩きながら、不安な気持ちで息子の誕生を待っていました。自分たちのテレビでも、また病院中のテレビでも、その前日のニューヨーク市の映像が何度も何度も流れていました。それは、かつてはニューヨーク市の空の風景の主演だった二つのタワーが、がれきと灰になって崩れ落ちる映像でした。何時間にもわたって放映されるその映像に、わたしたちは絶望感を味わっていました。世界はあまりにも暗く、脅威に満ちており、赤ん坊を迎え入れるのに、この上なく最悪な時期のように思えました。

翌朝早くに、息子は生まれました。わたしは小さな息子を腕に抱きながら、その数日間に起こった悲惨な出来事について思い巡らしていました。すると、1988年にイエローストーン国立公園で起きた火災のことが思い出されました。炎は森林の80万エーカー（32万3,750ヘクタール）近くを焼き尽くし、公園は完全に荒廃したように見えました。ニュースで流された映像に映っていたのはただ、焼け焦げた地面と空を覆う厚い黒煙だけでした。どんなに人が力を尽くしても、失われたものを急いで取り戻すことはできませんでした。火の破壊力の前には、自然の絶え間ない再生と生命力さえも、到底太刀打ちできないように見えました。



わたしたちを
打ちのめし、
圧倒しようとする
風によって、
変化と成長の種も
まかれます。

しかし、翌年の春、静かな奇跡が起こりました。小さな植物と花が、黒焦げた土壌から芽を出し始めたのです。徐々に、さらに多くの花や灌木、木々が地から姿を現しました。ゆっくりではありましたが、公園は再び生まれ変わり、小さいながらも輝く変化で満ちあふれました。時間がたつにつれて、劇的な変化を遂げたのです。

イエローストーンで起こった山火事の炎のように、わたしたちを飲み込もうとする不安を前にして、信仰と希望が消えそうになるとき、思い出さなければならないことがあります。それは、わたしたちを支える静かで不動の土台があり、それはわたしたちが遭遇するいかなる悪の力よりも強力であるということです。ヒラマンは、この土台は「神の御子でありキリストである贖い主の岩」であると説明しています。わたしたちが御子を基にするなら、「悪魔が大風を、まことに旋風の中に悪魔の矢を送るときにも、まことに悪魔の雹と大嵐があなたたちを打つときにも、それが不幸と無窮の苦悩の淵にあなたたちを引きずり落とすことはない。なぜならば、あなたたちは堅固な基であるその岩の上に建てられており、人はその基の上に築くならば、倒れることなどあり得ないから」です（ヒラマン5：12）。

この世の悪と誘惑の燃え盛る力に直面するとき、福音が及ぼす小さくて簡単な影響力はあまりに不釣り合いで、打ち負かされてしまうように考えるかもしれません。誤りが正され、苦痛が和らげられ、疑問が答えられるのをなすすべもなく待ちながら、疑いや絶望感を感じるかもしれません。しかし、わたしたちを打ちのめし、圧倒しようとする風によって、変化と成長の種もまかれます。福音の計り知れない力は土の下で静かに働きかけ、希望と命を秘めた多くの小さな種を育てているのです。■

筆者はアメリカ合衆国アリゾナ州在住です。



イラスト／ロバート・T・ハレット

ハワード・W・ハンター

ハワード・W・ハンターは、15才^{さい}のとき イーグル・スカウトしょう^{わか だんせい} (若い男性の たっせい プログラムで いちばん 高い しょう) を 取りました。ハワードは けいず^{たか}に きょうみを もち、教会^{きょうかい}けいずとしょかんで しらべたり、かぞくやしんせきを ほうもんしたりして、すごしました。使徒^{しと}として ほうしするとき、スリガム・ヤング大学^{だいがく} エルサレムセンターを たてるための 土地^{とち}を えらぶのを たすけました。教会^{きょうかい}の 大管長^{だいかんちょう}として、かいいんたちに、よく しんでん^{しん}に行^いって れいはいするように はげしました。そして、なくなる およそ 2か月前^{げつ}に ユタしゅうバウンティフルしんでんを ほうけんしました。

今月号のその他の記事

ヤングアダルト



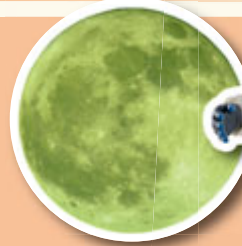
わたしの栄光に ひたすら目を向けるならば

40
ページ

世界各地のヤングアダルトが、救い主の模範に従い、慎み深く生きるとはどういうことかについて考えを述べています。

青少年

月は緑色ですか。月面着陸はでっち上げでしたか。このクイズを解いて、神の真理とサタンの偽りの違いを見分ける方法を学んでください。



真実か誤りか?

64
ページ

子ども

「それなら簡単よ、 おじいちゃん!」

モルモン書全部を1日半で読めると知ったら、驚きませんか。



67
ページ

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

